



Docket No.: 4233-4002

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): Aruna Rohra SUDA et al.

Group Art Unit: 2177

Serial No.: 09/865,773

Examiner: Srirama T. Channavajjala

Filed: May 25, 2001

For: SYSTEM AND METHOD FOR DISPLAYING INFORMATION PROVIDED
BY A PROVIDER

CLAIM TO CONVENTION PRIORITY

Mail Stop Amendment
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In the matter of the above-identified application and under the provisions of 35 U.S.C. §119 and 37 C.F.R. §1.55, Applicants claim the benefit of the following prior applications:

Applications filed in: Japan

In the name of: Aruna Rohra Suda, Suresh Jeyachandran, Prem Anand Joseph

Serial No: 2000-197293; 2000-314601; 2000-248999

Filing Dates: May 29, 2000; October 16, 2000; July 17, 2000

☒ Pursuant to the Claim to Priority, applicant(s) submit(s) a duly certified copy of said foreign application.

☐ A duly certified copy of said foreign application is in the file of application Serial No. _____, filed _____.

Respectfully submitted,
MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.

Dated: 9/2/04

By: 

Richard Martinelli
Registration No. 52,003

Correspondence Address:

MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.
3 World Financial Center
New York, NY 10281-2101
(212) 415-8700 Telephone
(212) 415-8701 Facsimile

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2000年 5月29日
Date of Application:

出願番号 特願2000-197293
Application Number:

[ST. 10/C]: [JP2000-197293]

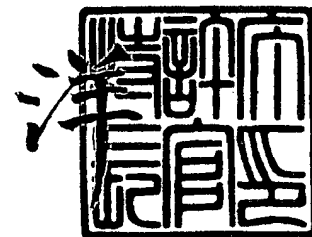
出願人 サオラ株式会社
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2004年 7月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川



【書類名】 特許願

【整理番号】 P2010001

【提出日】 平成12年 5月29日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明の名称】 情報処理装置及びその方法、及びそのプログラムを記憶した記憶媒体

【請求項の数】 28

【発明者】

 【住所又は居所】 横浜市鶴見区東寺尾 1 丁目 3 0 番 4 0 号 3 3 3

 【氏名】 須田アルナローラ

【発明者】

 【住所又は居所】 横浜市青葉区荏田西 5 丁目 3 番 2 2 号サオラ株式会社内

 【氏名】 ジェヤチャンドラン・スレッシュ

【発明者】

 【住所又は居所】 横浜市青葉区荏田西 5 丁目 3 番 2 2 号サオラ株式会社内

 【氏名】 ジョセフ・プレムアナンド

【特許出願人】

 【識別番号】 500142671

 【住所又は居所】 横浜市鶴見区東寺尾 1 丁目 3 0 番 4 0 号 3 3 3

 【氏名又は名称】 サオラ株式会社

 【代表者】 須田アルナローラ

 【電話番号】 045-913-9820

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置及びその方法、及びそのプログラムを記憶した記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報群に所定のインデックスを付与する付与手段と、
前記付与手段により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記データベースの内容を前記インデックスに基づいてソートするソート手段と、
前記ソート手段によりソートされた結果を表示する表示手段とを有することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記ソート手段が複数の前記インデックスに基づいてソート可能であることを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 前記インデックスが 1 つの種類のインデックスに複数の値を持つことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】 情報を閲覧するためのブラウザ手段を有し、当該ブラウザ手段より前記付与手段及び前記データベース作成手段が実行可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】 情報を閲覧するためのブラウザ手段と、
前記ブラウザ手段により表示された情報に書き込みを行なう書き込み手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】 前記書き込み手段により書き込みが行なわれた情報を送信する送信手段を有することを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】 情報を閲覧するためのブラウザ手段と、
前記ブラウザ手段により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】 前記抽出手段により抽出された情報をデータベースに保存する保存手段を有することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 0】 ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出手段と、

前記キーワード抽出手段により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 1】 前記キーワード抽出手段により抽出されたキーワードをインデックスとして情報をデータベースに保存するデータベース保存手段を有することを特徴とする請求項 1 0 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 2】 前記データベース保存手段により保存された情報を前記キーワード、時刻、情報に対する処理のいずれかに基づいて検索する検索手段を有することを特徴とする請求項 1 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 3】 情報群に所定のインデックスを付与する付与工程と、
前記付与工程により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 1 4】 前記データベースの内容を前記インデックスに基づいてソートするソート工程と、

前記ソート工程によりソートされた結果を表示する表示工程とを有することを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 5】 前記ソート工程において複数の前記インデックスに基づいてソート可能であることを特徴とする請求項 1 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 6】 前記インデックスが 1 つの種類のインデックスに複数の値を持つことを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 7】 情報を閲覧するためのブラウジング工程を有し、当該ブラウジング工程より前記付与工程及び前記データベース作成工程が実行可能であることを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 8】 情報を閲覧するためのブラウジング工程と、
前記ブラウジング工程により表示された情報に書き込みを行なう書き込み工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 1 9】 前記書き込み工程により書き込みが行なわれた情報を送信

する送信工程を有することを特徴とする請求項 1 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 2 0】 情報を閲覧するためのブラウジング工程と、

前記ブラウジング工程により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 2 1】 前記抽出工程により抽出された情報をデータベースに保存する保存工程を有することを特徴とする請求項 2 0 に記載の情報処理方法。

【請求項 2 2】 ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出工程と、

前記キーワード抽出工程により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 2 3】 前記キーワード抽出工程により抽出されたキーワードをインデックスとして情報をデータベースに保存するデータベース保存工程を有することを特徴とする請求項 2 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 2 4】 前記データベース保存工程により保存された情報を前記キーワード、時刻、情報に対する処理のいずれかに基づいて検索する検索工程を有することを特徴とする請求項 2 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 2 5】 情報群に所定のインデックスを付与する付与工程と、

前記付与工程により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成工程とを有することを特徴とする情報処理プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 2 6】 情報を閲覧するためのブラウジング工程と、

前記ブラウジング工程により表示された情報に書き込みを行なう書き込み工程とを有することを特徴とする情報処理プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 2 7】 情報を閲覧するためのブラウジング工程と、

前記ブラウジング工程により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出工程とを有することを特徴とする情報処理プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 2 8】 ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出工程と、

前記キーワード抽出工程により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示工程とを有することを特徴とする情報処理プログラムを記憶した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置及びその方法、及びそのプログラムを記憶した記憶媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、コンピュータ又はインターネット機器を利用してインターネットからの情報をブラウザというソフトを使って読む事が行なわれている。又ファイルというアプリケーションプログラムを新に開いて、情報をそれに保存することができる。

又ブラウザからの情報をそのまま送信することができている。ブラウザ上の情報に書き込みするためにそれを別アプリ（例：ワープロなど）に移動させて、その上書き込み又はそれを送信することができる。

【0003】

【発明が解決しようとしている課題】

しかしながら、上記従来技術ではブラウザからの情報を取得したり、それを管理したりするのはとても難しかった。

例えば、ブラウザ上で情報を読みながら、他のアプリを開かず、読んでいる情報を保存したり、その情報にコメントを書き込んだり、ある部分を強調表示したりすることができなかった。またそうやって加工した情報をそのまま送信することができなかった。

ファイルアプリを利用する際にファイルの特定名称又はそのフォルダ先を指定しなければならなかった。情報をファイルした後、情報をキーワードなどを使って検索できたがキーワード又は特定のパラメータごとにソートすることができなかった。ファイルした情報をファイルフォルダ又はファイル一覧でしか見ることができなかった。さらにファイルされた情報に対し、期限をつける事ができな

たので、期限付きの多いウェブ情報をファイルした場合に、管理が難しかった。

また、ある保存手段を使って保存されている（お気に入りなど）インターネットからの情報（URL、ページなど）をURLの地域（.JP, .CO.JP）別に検索又はソートすることができなかった。又URLの組織部分（SAORA.CO.JPの内SAORA）でも検索及びソートすることができなかった。

Browserで読む際に、一つ以上のプロセスを開くことはできるが、各ブラウザプロセスでアクセスされるURLは別々に管理することができなかった。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明によれば、情報処理装置に、情報群に所定のインデックスを付与する付与手段と、前記付与手段により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成手段とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理装置に、情報を閲覧するためのブラウザ手段と、前記ブラウザ手段により表示された情報に書き込みを行なう書き込み手段とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理装置に、情報を閲覧するためのブラウザ手段と、前記ブラウザ手段により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出手段とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理装置に、ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出手段と、前記キーワード抽出手段により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示手段とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理方法に、情報群に所定のインデックスを付与する付与工程と、前記付与工程により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成工程とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理方法に、情報を閲覧するためのブラウジング工程と、前記ブラウジング工程により表示された情報に書き込みを行なう書き込み工程とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理方法に、情報を閲覧するためのブラウジン

グ工程と、前記ブラウジング工程により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出工程とを備える。

また、他の態様によれば、情報処理方法に、ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出工程と、前記キーワード抽出工程により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示工程とを備える。

また、他の態様によれば、プログラムを記憶可能な記憶媒体に、情報群に所定のインデックスを付与する付与工程と、前記付与工程により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成工程とを備える情報処理プログラムを記憶している。

また、他の態様によれば、プログラムを記憶可能な記憶媒体に、情報を閲覧するためのブラウジング工程と、前記ブラウジング工程により表示された情報に書き込みを行なう書き込み工程とを備える情報処理プログラムを記憶している。

また、他の態様によれば、プログラムを記憶可能な記憶媒体に、情報を閲覧するためのブラウジング工程と、前記ブラウジング工程により表示された情報より予め指定された種類の情報を抽出する抽出工程とを備える情報処理プログラムを記憶している。

また、他の態様によれば、プログラムを記憶可能な記憶媒体に、ウェブ上の情報に付与されているキーワードを抽出するキーワード抽出工程と、前記キーワード抽出工程により抽出されたキーワードを表示するキーワード表示工程とを備える情報処理プログラムを記憶している。

【0005】

【発明の実施の形態】

以下、図面を用いて本発明の1実施形態を詳細に説明する。

図1は、本実施形態に係る情報処理装置のハードウェア構成を示すブロック図である。

同図において、CPU101は、フローチャートにつき後述する処理手順を含む各種プログラムを実行し、システムバス106により接続された装置各部を制御する。RAM102は、データやプログラムを一時記憶する。ROM103は、固定的なデータやプログラムを記憶する。キーボード104は、文字を入力し

たり、機能を選択するためのキーを備えている。更に画面上の位置を指示するためのポインティングデバイスとしてマウスが備えられている。

ディスプレイ 1 0 5 は、検索などの処理結果を表示したり、ユーザインターフェースを提供する。ハードディスクドライブ（HDD） 1 0 6 は、プログラムやデータを永続的に記憶できる。システムバス 1 0 7 は、上述した装置各部を接続し、装置間でデータやアドレス、制御信号を送受信する媒体として利用される。

フローチャートにつき後述する処理手順を含む各種プログラムは、ROM 1 0 3 に記憶されていてもよいし、HDD 1 0 6 から RAM 1 0 2 へ、処理に先立ってあるいは処理の実行中に必要に応じてロードされるようにしてもよい。

図 2 は、本実施形態の情報処理装置の機能構成を示すブロック図である。

ブラウザ 2 0 1 はウェブ上の情報閲覧に利用される。ファイリングシステム 2 0 2 は、ファイルを管理する。文書管理システム 2 0 3 は、文書を管理する。情報管理システム 2 0 4 は、文書以外の情報を管理する。KPTシステム 2 0 5 は、ブラウザ 2 0 1、ファイリングシステム 2 0 2、文書管理システム 2 0 3、情報管理システム 2 0 4 を制御し、利用して後述する本実施形態の主たる処理を実行する。知識ベース管理部 2 0 6 は、データベース 2 0 7 上の知識ベースの知識を管理する。

図 3 は、情報閲覧における機能構成を示すブロック図である。

インターネット 3 0 1 上の情報を閲覧するために、複数のブラウザ 2 0 1 A、2 0 1 B を同時に利用した場合、後で詳述するように、KPTシステム 2 0 5 はそれを区別して管理する。

図 4 は、全体の処理手順を示すフローチャートである。以下では、インターネットに接続して必要な情報を閲覧し、保存する例について説明する。

ステップ S 4 0 1 では、インターネット上の情報を閲覧する準備となる初期の処理を実行する。ステップ S 4 0 2 では、閲覧や保存などのメインの処理を実行する。ステップ S 4 0 3 では、終了時の処理を実行する。

図 5 は、ステップ S 4 0 1 の初期の処理の詳細手順を示すフローチャートである。

ステップ S 5 0 1 では、ブラウザが起動されているかを判別し、起動されて

いなければ、ステップ S 5 0 2 で起動する。ステップ S 5 0 3 では新たなセッションを作成し、ステップ S 5 0 4 で知識ベースの知識を更新する。ステップ S 5 0 5 では、情報閲覧のためのユーザインタフェース (U I) を表示する。

図 6 は、ステップ S 4 0 2 のメインの処理の詳細手順を示すフローチャートである。

ステップ S 6 0 1 では、ユーザの要求がブラウザーの終了であるかを判断し、終了でなければ、ステップ S 6 0 2 で、新規の URL への移動であるかを判断する。新規の URL への移動でもなければ、K P T システム 2 0 5 に対する操作であるので、ステップ S 6 0 4 で、操作に応じてブラウザー 2 0 1 から H T M L 文書を取得し、K P T A c t i o n、K P T D o c の内容をファイルするなどの処理を行なう。ステップ S 6 0 5 で、ユーザの操作により要求された処理を実行する。詳細は後述する。

一方、ステップ S 6 0 2 で、ユーザの要求が新規の URL への移動であった場合、ステップ S 6 0 6 で現在のタスクを終了するかを確認し、現在のタスクを終了しない場合は、ステップ S 6 0 7 で移動を中止する。現在のタスクを終了する場合は、ステップ S 6 0 8 で、新規タスクを作成し、ステップ S 6 0 9 で、K P T A c t i o n、K P T D o c の知識構造を作成する。

続いて、ステップ S 6 1 0 で、ブラウザー 2 0 1 から URL、キーワードを取得する。ステップ S 6 1 1 では、URL のデータがシステム内に存在しているかを判断し、システム内に存在していれば、ステップ S 6 1 2 で、その存在するデータを取得する。存在していない場合、ステップ S 6 1 5 に進む。ステップ S 6 1 3 では URL がシステム内のパスを表しているかを判断し、そうであればステップ S 6 1 4 で、対応する検索 U I メッセージを取得する。ステップ S 6 1 5 では、キーワードと、取得されたデータやメッセージを表示する。

一方、ステップ S 6 0 1 で、ユーザの要求がブラウザーの終了であった場合、ステップ S 6 1 6 で現在のタスクを終了させて処理を終える。

図 7 は、ステップ S 6 0 3 のユーザの操作判断の詳細手順を示すフローチャートである。

まず、ステップ S 7 0 1 で A c t の値にユーザの操作を設定し、ステップ S 7

02で、A c tがN U L Lであれば、f a l s eとしてリターンする。ステップS 7 0 3で、A c tが簡易保存であれば、ステップS 7 0 4に進む。ステップS 7 0 5で、A c tが自動保存であれば、ステップS 7 0 4に進む。ステップS 7 0 6で、A c tが保存であれば、ステップS 7 0 7で保存の設定のためのU Iを表示し、ステップS 7 0 4に進む。ステップS 7 0 8で、A c tが保留であれば、ステップS 7 0 9で保留の設定のためのU Iを表示し、ステップS 7 0 4に進む。ステップS 7 0 4では、保存あるいは保留の対象となるデータが存在するかをチェックし、存在すればt r u eとしてリターンし、そうでなければf a l s eとしてリターンする。

ステップS 7 1 0で、A c tが送信であれば、ステップS 7 1 1で送信の設定のためのU Iを表示し、ステップS 7 1 2で、ユーザーから宛先、C C、件名などの送信に関わる値を取得して、t r u eとしてリターンする。ステップS 7 1 3で、A c tがA n n o t a t eであれば、ステップS 7 1 4でA n n o t a t e（ユーザ書き込み）の設定のためのU Iを表示し、ステップS 7 1 5でA n n o t a t eを実行して、t r u eとしてリターンする。ステップS 7 1 6で、A c tが抽出であれば、ステップS 7 1 7で抽出の設定のためのU Iを表示し、ステップS 7 1 8で抽出を実行して、t r u eとしてリターンする。A c tが以上のいずれでもなければ、ステップS 7 1 9のM g m t（後述）を実行し、f a l s eとしてリターンする。

図8は、ステップS 7 0 4の保存対象が存在するかのチェックの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS 8 0 1で、ユーザまたは設定から「瞬録」か否か、保存期間などの値を取得する。ステップS 8 0 2で、U R Lが既に存在しているかを判断し、存在してなければ、ステップS 8 0 3でM o d i f y S t a t u sにs a v e A s N e w A c t i o nを設定して、t r u eとしてリターンする。U R Lが既に存在していれば、ステップS 8 0 4、8 0 6で上書きする場合はM o d i f y S t a t u sにO v e r W r i t e E x i s t i n gを設定して（ステップS 8 0 4、8 0 5）、新規で保存する場合はM o d i f y S t a t u sにs a v e A s N e w A c t i o nを設定して（ステップS 8 0 6、8 0 7）、t r u eとしてリ

ターンする。上書きでも新規でもない場合は、ステップS808で保存しないこととし、falseとしてリターンする。

図9は、ステップS715のAnnotateの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS901で、Actの値にAnnotateのUIに対するユーザの操作を設定し、Actがメモ書き込みであれば、表示ページ中の選択された場所にユーザの指定したメモを追加し（ステップS902、903）、ステップS904に進む。Actが脚注であれば、脚注番号を作成し、表示ページ中の選択された場所に作成した脚注番号を追加し、ページの最後に脚注番号と対応付けてユーザのメモを追加して（ステップS906、907）、ステップS904に進む。

また、Actが強調表示であれば、選択部分に指定された色でTagを追加し（ステップS908、909）、ステップS904に進む。Actがテキスト色変更であれば、選択部分に指定された色でTagを追加し（ステップS910、911）、ステップS904に進む。Actが削除であれば、選択部分に<visiblefalse>Tagを追加し（ステップS912、913）、ステップS904に進む。

Actが1つ戻すであれば、直前の処理をキャンセルして1つ前の状態に戻し（ステップS914、915）、ステップS904に進む。Actが元に戻すであれば、Annotateの全ての処理をキャンセルして元に戻し（ステップS916、917）、ステップS904に進む。

ステップS904では、各操作により編集されたHTMLデータをブラウザに渡し、ステップS905でUIを更新してステップS901に戻る。また、Actが以上のいずれでもなければ、リターンする。

図10は、ステップS718の抽出の詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1001では、KPTPersonを作成する。ステップS1002では、Actの値に抽出のUIに対するユーザの操作を設定する。

この操作が、特定のボタンが押されたり、ドラッグ・アンド・ドロップなどの操作や選択部分の右クリックによる選択などにより、ページ中のデータを抽出し

である入力欄のデータとして入力するものである場合、具体的には、「瞬録」、「名前」、「Eメール」、「電話」、「ファックス」、「メモ」の入力であった場合（ステップS1003、1007～1010）、ステップS1004に進む。また、ステップS1011でActが全てクリアであれば、ステップS1012で全フィールドをクリアして、ステップS1004に進む。

ステップS1004では、KPTPersonに値の追加や編集を行ない、ステップS1005でUIを更新してステップS1002に戻る。また、ステップS1013でActが保存であれば、KPTAction (Extract)を作成し、ステップS1014で、それでKPTPersonを満たしてリターンする。Actがいずれでもなければ、ステップS1002に戻る。

図11は、ステップS719のMgmtの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1101では、Actの値にユーザの操作を設定する。ステップS1102で、ActがNULLであれば、リターンする。Actが再生であれば、後述するShowSession () を実行してリターンする（ステップS1103、1104）。Actが記録一覧であれば、後述するShowLinks () を実行してリターンする（ステップS1105、1106）。Actがページの検索であれば、検索のUIを表示してリターンする（ステップS1107、1108）。Actが抽出データの検索であれば、抽出データ検索のUIを表示してリターンする（ステップS1109、1110）。Actがアドレス帳の表示であれば、Actがアドレス帳のUIを表示してリターンする（ステップS1111、1112）。Actがユーザ設定の表示であれば、ユーザ設定のUIを表示してリターンする（ステップS1113、1114）。

図12は、ステップS1104のShowSessionの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1201では、知識ベースからKPTAction (KPTDoc) を取得し、ステップS1202では、KPTActionをタイムチャート、セッション別にソートし、ステップS1203で再生UIを表示してリターンする。

図13は、ステップS1106のShowLinksの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1301では、知識ベースからKPTAction (KPTDoc) を取得し、ソート項目が組織であれば、組織別にソートして(ステップS1302、1303)、ステップS1304に進む。ソート項目がドメインであれば、ドメイン別にソートして(ステップS1305、1306)、ステップS1304に進む。ソート項目が組織でもドメインでもなければ、ステップS1307でキーワード別にソートして、ステップS1304に進む。ステップS1304では、記録一覧UIを表示してリターンする。

図14は、ステップS605のExecuteActionの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1401で、次のActをActListから取得する。ステップS1402でActがなければ、リターンする。ステップS1403では、取得したActに不足があれば、知識ベースを用いた推論によって補い、完全なものにする。

Actが、簡易保存、保存、保留、自動保存のいずれかであれば、後述するSaveContents () を実行して(ステップS1404~1408)、ステップS1401に戻る。Actが送信であれば、SendContents () を実行して(ステップS1409~1410)、ステップS1401に戻る。Actが抽出であれば、知識ベースにKPTActionとKPTPersonを追加して(ステップS1411~1412)、ステップS1401に戻る。Actが以上のいずれでもなければ、ステップS1413で知識ベースを更新して、ステップS1401に戻る。

図15は、SaveContentsの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1501で、保存内容はURLのみかを判断し、そうであればステップS1505に進む。URLのみでなければステップS1502で保存内容はページ内容であるかを判断する。ページ内容であれば、ステップS1503で後述するWebFetch () を実行する。ページ内容でなければ、ステップS1

504でPagePLUSにtrueをセットしてWebFetch()を実行する。ステップS1505～1508では、ModifyStatusがsaveAsNewActionであれば、知識ベースにKPTActionとKPTPersonを追加してリターンする。ModifyStatusがOverWriteExistingであれば、知識ベースのKPTActionとKPTPersonを編集してリターンする。

図16は、ステップS1503のWebFetchの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1601で、HTML文を開き、ステップS1602で次のタグを取得し、ステップS1603で、ファイルの終わりであればリターンする。そうでなければ、タグが埋め込まれた画像やフレームであるか（ステップS1604）、PagePLUSがtrueの場合にタグがリンク先であるか（ステップS1609）を判定し、いずれでもなければステップS1602に戻る。どちらかであれば、内容が既に知識ベースに存在するかを調べ（ステップS1605）、なければその内容をダウンロードして知識ベースに追加し（ステップS1607、1608）、HTMLタグを編集する（ステップS1606）。そしてステップS1602に戻る。

図17は、ステップS1410のSendContentsの詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1701で、送信内容はURLのみかを判断し、そうであればステップS1702でURLのみのメッセージを作成し、ステップS1707に進む。URLのみでなければステップS1703で送信内容はページ内容であるかを判断する。ページ内容でなければ、ステップS1704で画像を含まないHTMLメッセージを作成し、ステップS1707に進む。ページ内容であれば、ステップS1705で図16につき説明したWebFetch()を実行し、ステップS1706で画像を含まないHTMLメッセージを作成し、ステップS1707に進む。ステップS1707では、作成したメッセージを送信し、ステップS1708で知識ベースにKPTActionとKPTPersonを追加してリターンする。

図18は、ステップS403の終了処理の詳細手順を示すフローチャートである。

ステップS1801で表示中のUIを消去し、ステップS1802でセッションを終了し、ステップS1803で知識ベースを更新する。更に、ブラウザの終了が必要であれば、ブラウザも終了させて（ステップS1804、1805）、処理を終える。

図19は、本実施形態の知識ベースにおける知識構造を示す図である。（a）、（b）、（c）はそれぞれ、KPTConcept、KPTPerson、KPTDocumentの知識構造を示している。

図20は、本実施形態の知識ベースにおける知識構造を示す図である。（a）、（b）はそれぞれ、KPTAction、KPTContentの知識構造を示している。

図21は、本実施形態の知識ベースの内容を示す図である。（a）、（b）はそれぞれ、KPTDocument、KPTActionの知識ベースの内容を示している。

図22は、本実施形態の知識ベースの内容を示す図である。（a）、（b）はそれぞれ、KPTPerson、KPTContentの知識ベースの内容を示している。

図23は、Domainの知識ベースの内容を示す図である。

図24は、表示内容の例を示す図である。ステップS610で取得されたキーワード（KPT、横浜）がステップS615でキーワード欄に表示されたことを示している。

図25は、保存UIの例を示す図である。図24において保存を選択してステップS707で保存期間などを設定するための保存UIが表示されたことを示している。

図26は、知識構造の作成結果を示す図である。（a）、（b）はそれぞれ、ステップS609で作成されるKPTAction、KPTDocの知識構造を示している。

図27は、取得されるHTML文書の例を示す図である。ステップS604で

この図のような HTML 文書がブラウザから取得され、ステップ S 1 6 0 4 ~ 1 6 0 8 で拡張子 g i f を持つ画像がダウンロードされる。

図 2 8 は、知識構造の作成結果を示す図である。図 2 7 の HTML 文書よりステップ S 1 6 0 8 で追加される知識構造を示している。

図 2 9 は、編集された HTML 文書の例を示す図である。図 2 7 の HTML 文書をステップ S 1 6 0 6 で編集した例を示している。

図 3 0 は、知識構造の追加結果を示す図である。ステップ S 1 5 0 6 で追加される知識構造を示している。

図 3 1 は、保留 UI の例を示す図である。図 2 4 において保存を選択してステップ S 7 0 9 で保留期間などを設定するための保存 UI が表示されたことを示している。

図 3 2 は、Annotation UI の例を示す図である。図 2 4 において Annotation を選択してステップ S 7 1 4 で書き込み内容の作成などのための Annotation UI が表示されたことを示している。

図 3 3 は、編集された HTML 文書の例を示す図である。Annotation によりステップ S 9 0 3 で書き込みが行われた結果の HTML 文書を示している。

図 3 4 は、送信 UI の例を示す図である。図 2 4 において送信を選択してステップ S 7 1 1 で送信先の設定などのための送信 UI が表示されたことを示している。

図 3 5 は、抽出 UI の例を示す図である。図 2 4 において抽出を選択してステップ S 7 1 7 で必要な部分を抽出して入力する入力欄を含む抽出 UI が表示されたことを示している。

図 3 6 は、知識構造の追加結果を示す図である。ステップ S 1 4 1 2 で追加された結果の知識構造を示している。

図 3 7 は、再生 UI の例を示す図である。ステップ S 1 2 0 2 で K P T A c t i o n がタイムチャート、セッション別にソートされて、ステップ S 1 2 0 3 で表示され、更にステップ S 6 1 4 により取得された検索 UI メッセージがステップ S 6 1 5 で表示されたことを示している。

図38は、記録一覧UIの例を示す図である。ステップS1303で組織別にソートされ、ステップS1304で表示される記録一覧UIの例を示している。

図39は、記録一覧UIの例を示す図である。ステップS1306でドメイン別にソートされ、ステップS1304で表示される記録一覧UIの例を示している。

図40は、記録一覧UIの例を示す図である。ステップS1307でキーワード別にソートされ、ステップS1304で表示される記録一覧UIの例を示している。複数のキーワードを持つ場合、それぞれのキーワードについて表示される。

図41は、ステップS1108で表示される検索UIの例を示す図である。

図42は、図42で選択したエントリのプロパティの表示例を示す図である。

図43は、ステップS1110で表示される抽出データ検索UIの例を示す図である。

図44は、ステップS1112で表示されるアドレス帳UIの例を示す図である。

図45は、図44で選択したエントリのプロパティの表示例を示す図である。

図46～50は、ステップS1114で表示されるユーザ設定UIの例を示す図である。

尚、本発明は、単一の機器からなる装置に適用しても、複数の機器から構成されるシステムに適用してもよい。また、上述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記憶した記憶媒体を、装置あるいはシステムに供給し、装置あるいはシステム内のコンピュータが記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出して実行することによって達成してもよい。

更に、装置あるいはシステム内のコンピュータが記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出して実行することによって、上述した実施形態の機能を直接実現するばかりでなく、そのプログラムコードの指示に基づいて、コンピュータ上で稼動しているOSなどの処理により、上述の機能を実現される場合も含まれる。

これらの場合、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成する

ことになる。

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、ウェブからの情報を簡単に管理できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態に係る情報処理装置のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図 2】

本実施形態の情報処理装置の機能構成を示すブロック図である。

【図 3】

情報閲覧における機能構成を示すブロック図である。

【図 4】

全体の処理手順を示すフローチャートである。

【図 5】

初期の処理の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 6】

メインの処理の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 7】

ユーザの操作判断の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 8】

保存対象が存在するかのチェックの詳細手順を示すフローチャートである。

【図 9】

A n n o t a t e の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 1 0】

抽出の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 1 1】

M g m t の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 1 2】

S h o w S e s s i o n の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 13】

Show Links の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 14】

Execute Action の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 15】

Save Contents の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 16】

Web Fetch の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 17】

Send Contents の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 18】

終了処理の詳細手順を示すフローチャートである。

【図 19】

本実施形態の知識ベースにおける知識構造を示す図である。

【図 20】

本実施形態の知識ベースにおける知識構造を示す図である。

【図 21】

本実施形態の知識ベースの内容を示す図である。

【図 22】

本実施形態の知識ベースの内容を示す図である。

【図 23】

Domain の知識ベースの内容を示す図である。

【図 24】

表示内容の例を示す図である。

【図 25】

保存 UI の例を示す図である。

【図 26】

知識構造の作成結果を示す図である。

【図 27】

取得される HTML 文書の例を示す図である。

【図 2 8】

知識構造の作成結果を示す図である。

【図 2 9】

編集された HTML 文書の例を示す図である。

【図 3 0】

知識構造の追加結果を示す図である。

【図 3 1】

保留 UI の例を示す図である。

【図 3 2】

Annotat i o n UI の例を示す図である。

【図 3 3】

編集された HTML 文書の例を示す図である。

【図 3 4】

送信 UI の例を示す図である。

【図 3 5】

抽出 UI の例を示す図である。

【図 3 6】

知識構造の追加結果を示す図である。

【図 3 7】

再生 UI の例を示す図である。

【図 3 8】

記録一覧 UI の例を示す図である。

【図 3 9】

記録一覧 UI の例を示す図である。

【図 4 0】

記録一覧 UI の例を示す図である。

【図 4 1】

検索 UI の例を示す図である。

【図 4 2】

プロパティの例を示す図である。

【図 4 3】

抽出データ検索 U I の例を示す図である。

【図 4 4】

アドレス帳 U I の例を示す図である。

【図 4 5】

プロパティの例を示す図である。

【図 4 6】

ユーザ設定 U I の例を示す図である。

【図 4 7】

ユーザ設定 U I の例を示す図である。

【図 4 8】

ユーザ設定 U I の例を示す図である。

【図 4 9】

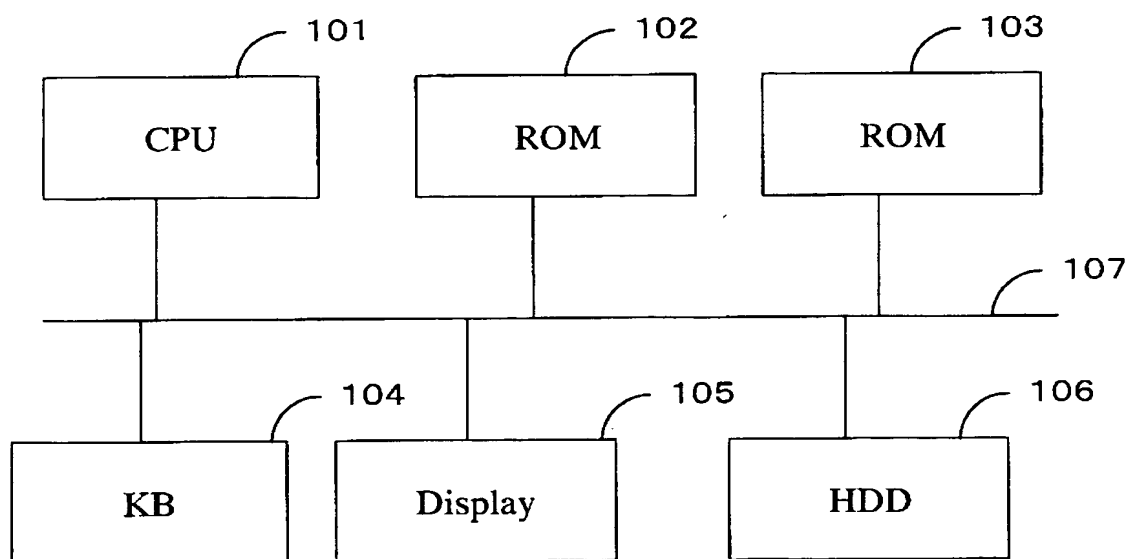
ユーザ設定 U I の例を示す図である。

【図 5 0】

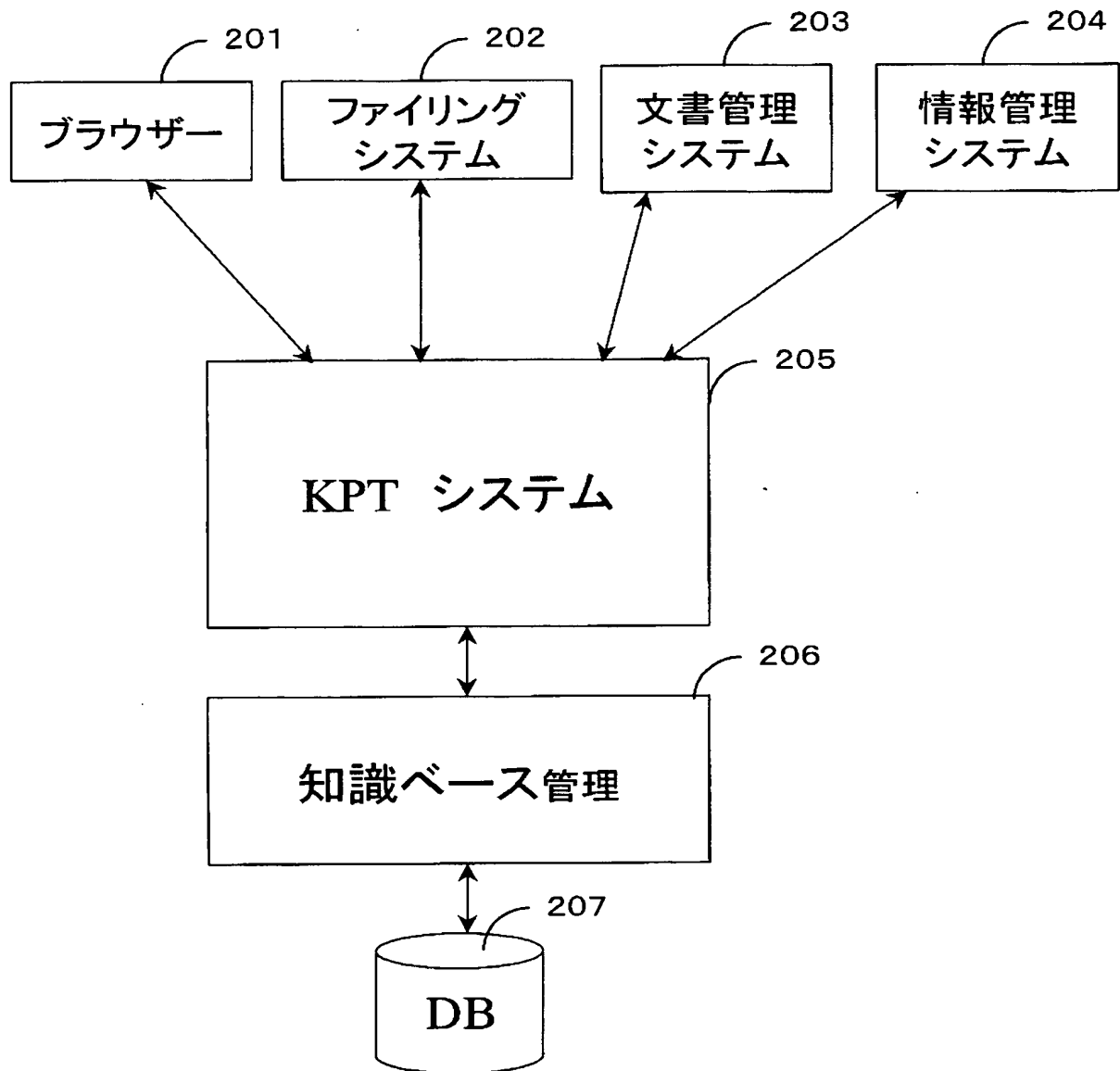
ユーザ設定 U I の例を示す図である。

【書類名】 図面

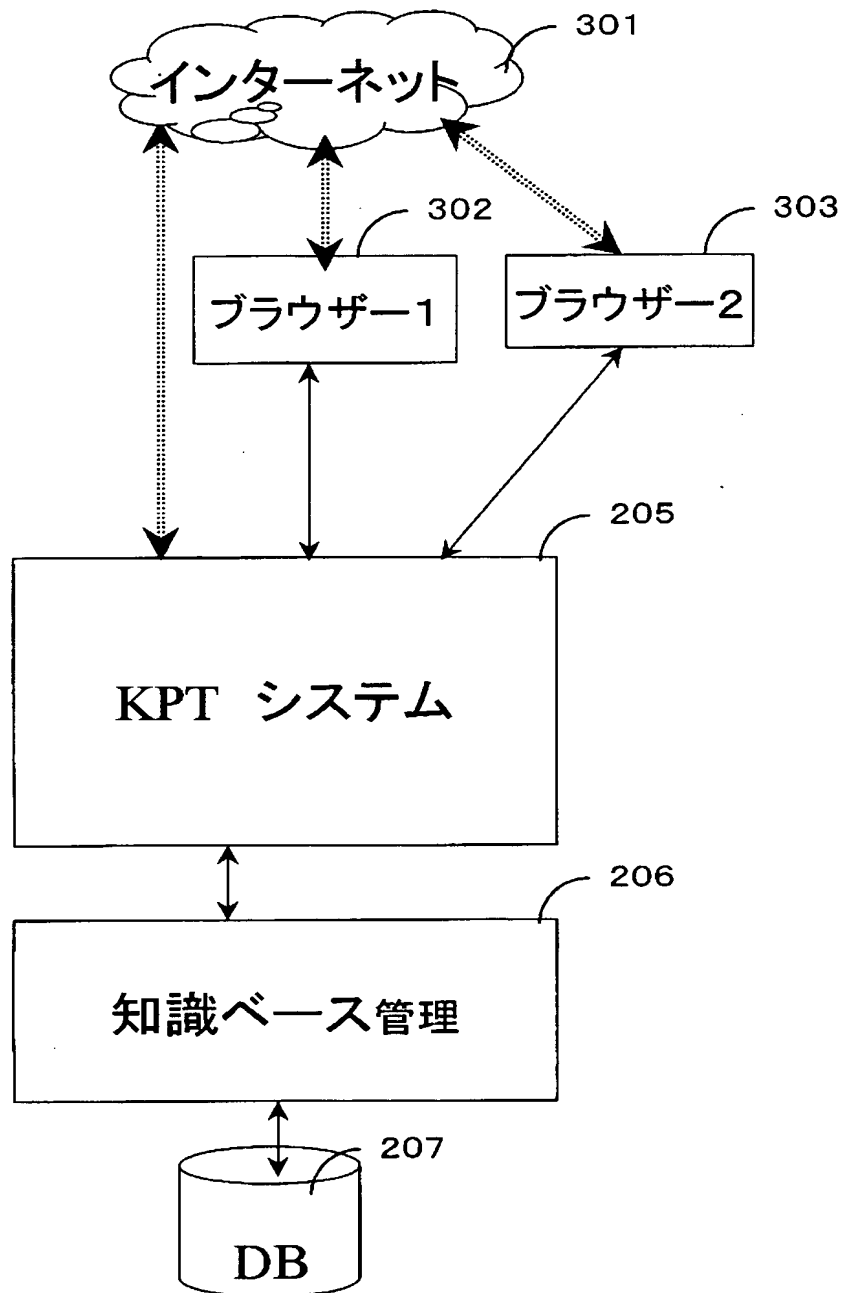
【図 1】



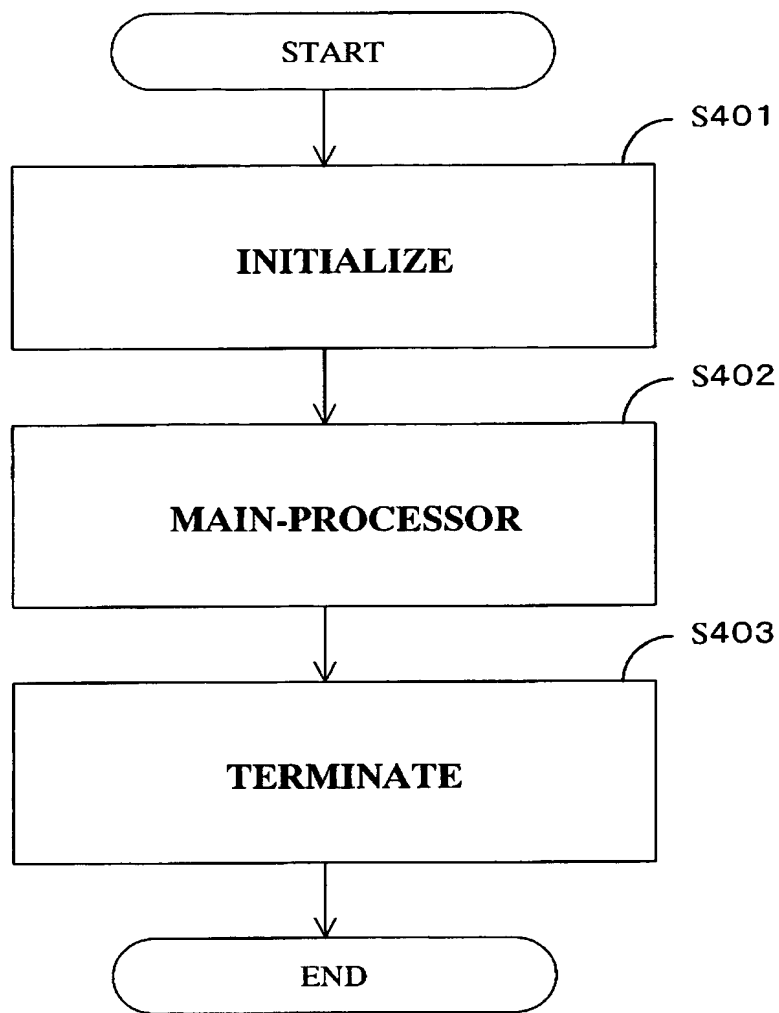
【図 2】



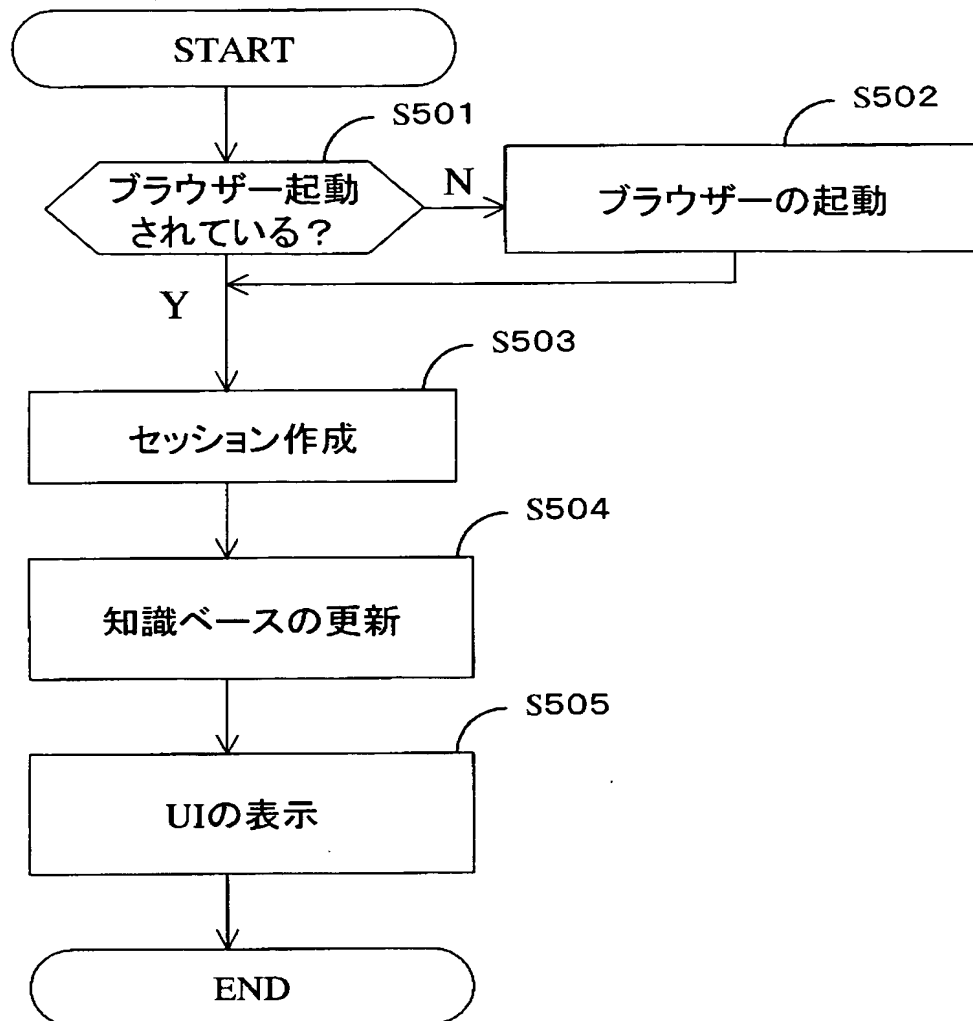
【図 3】



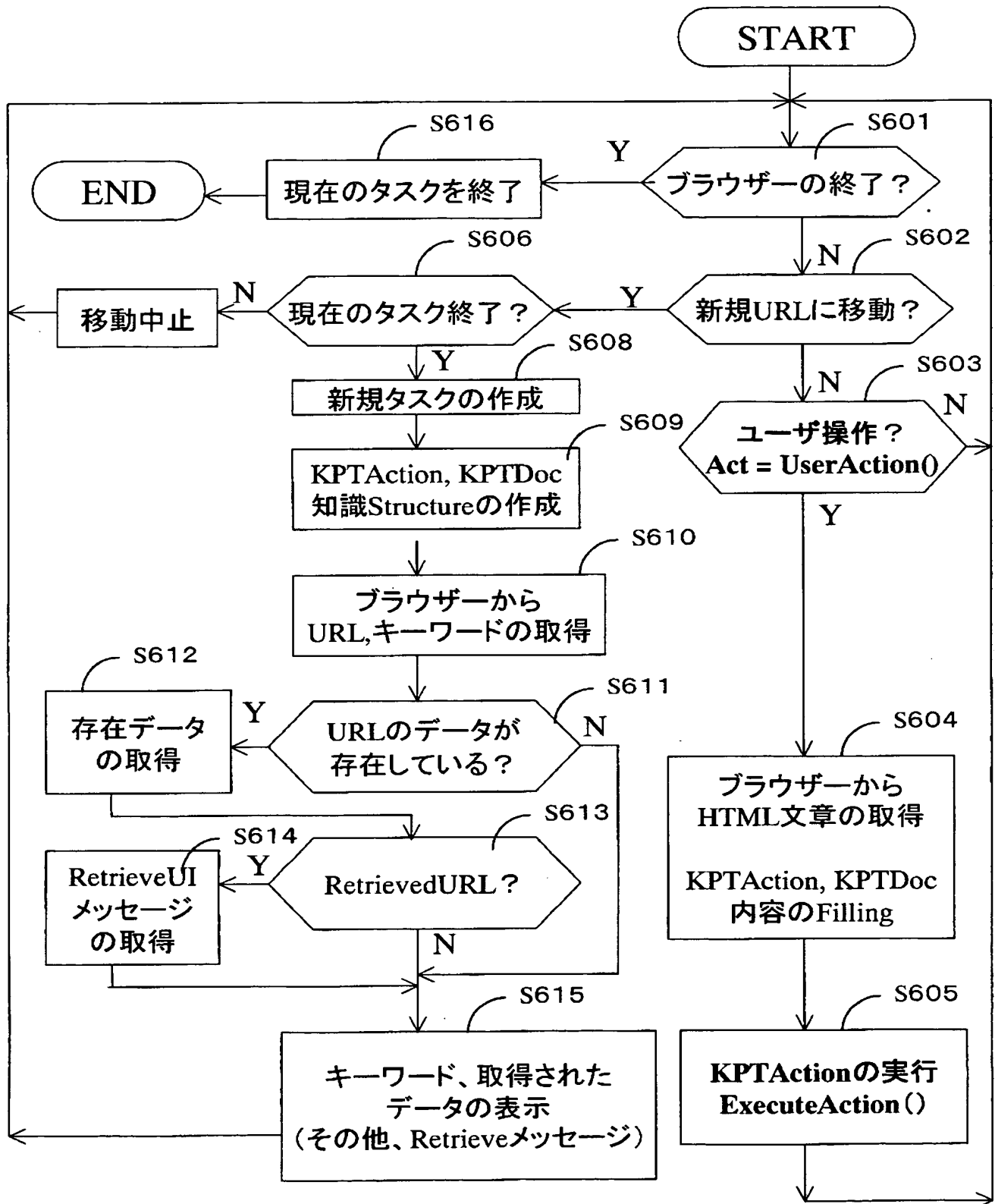
【図 4】



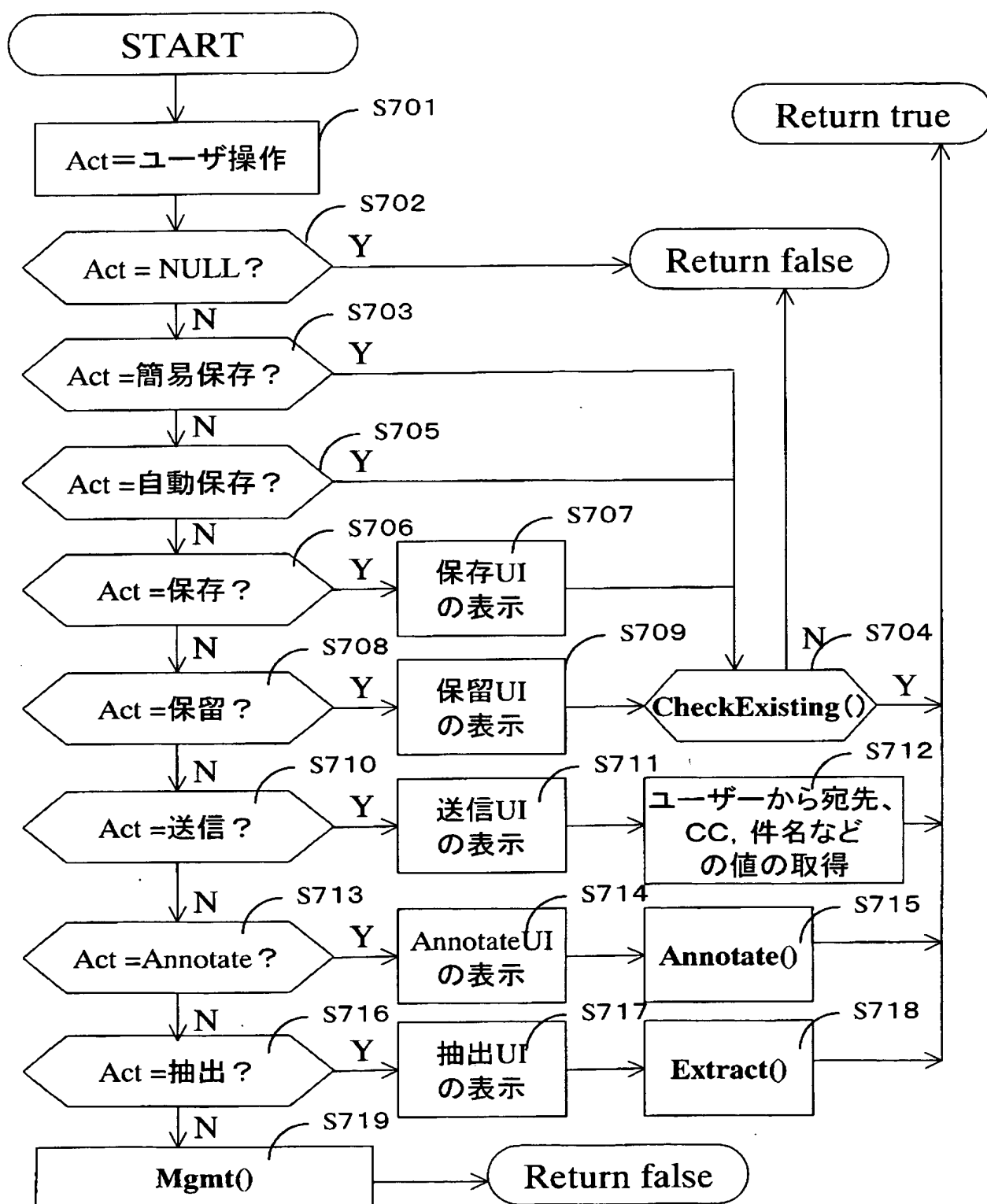
【図 5】



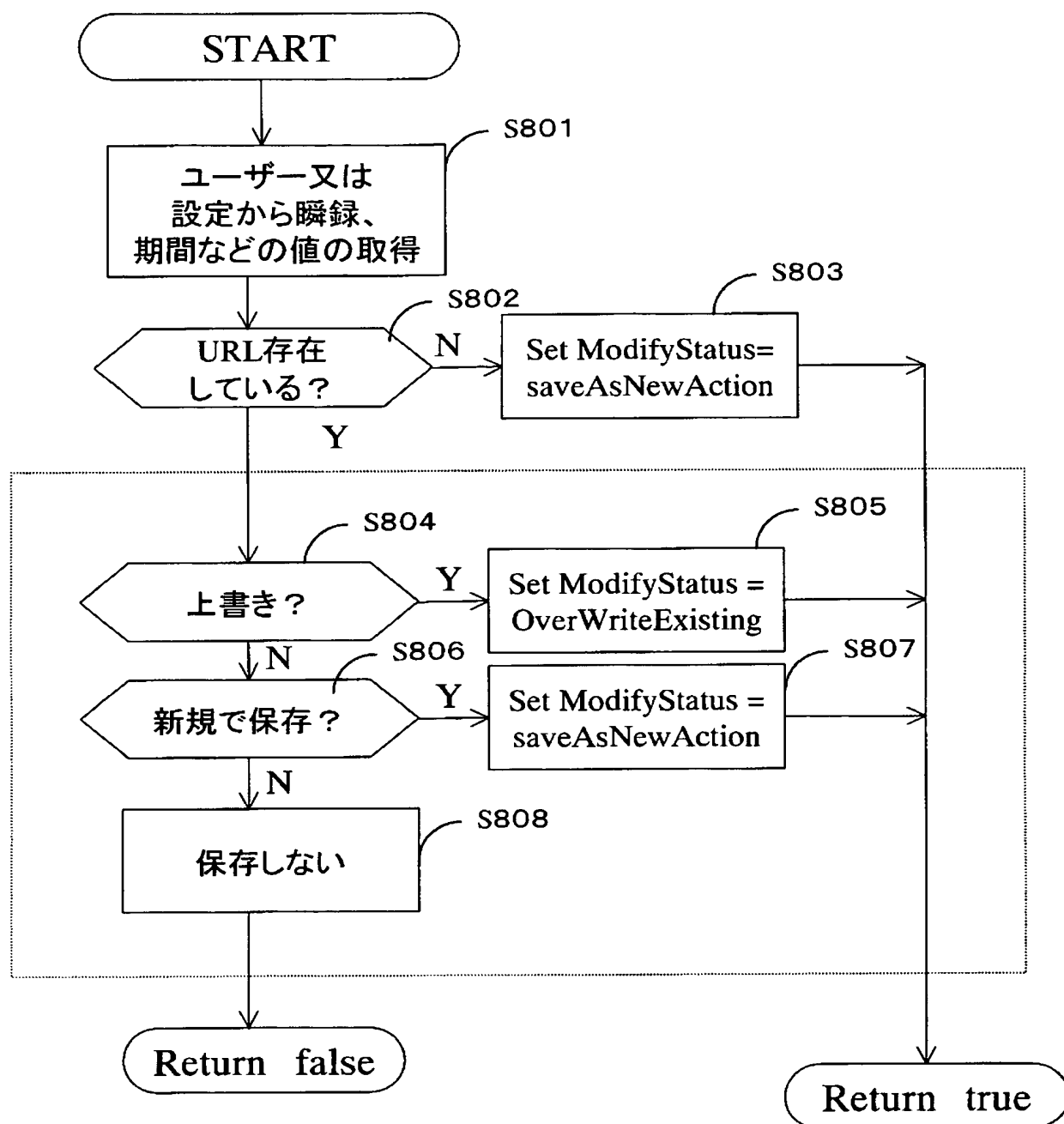
【図 6】



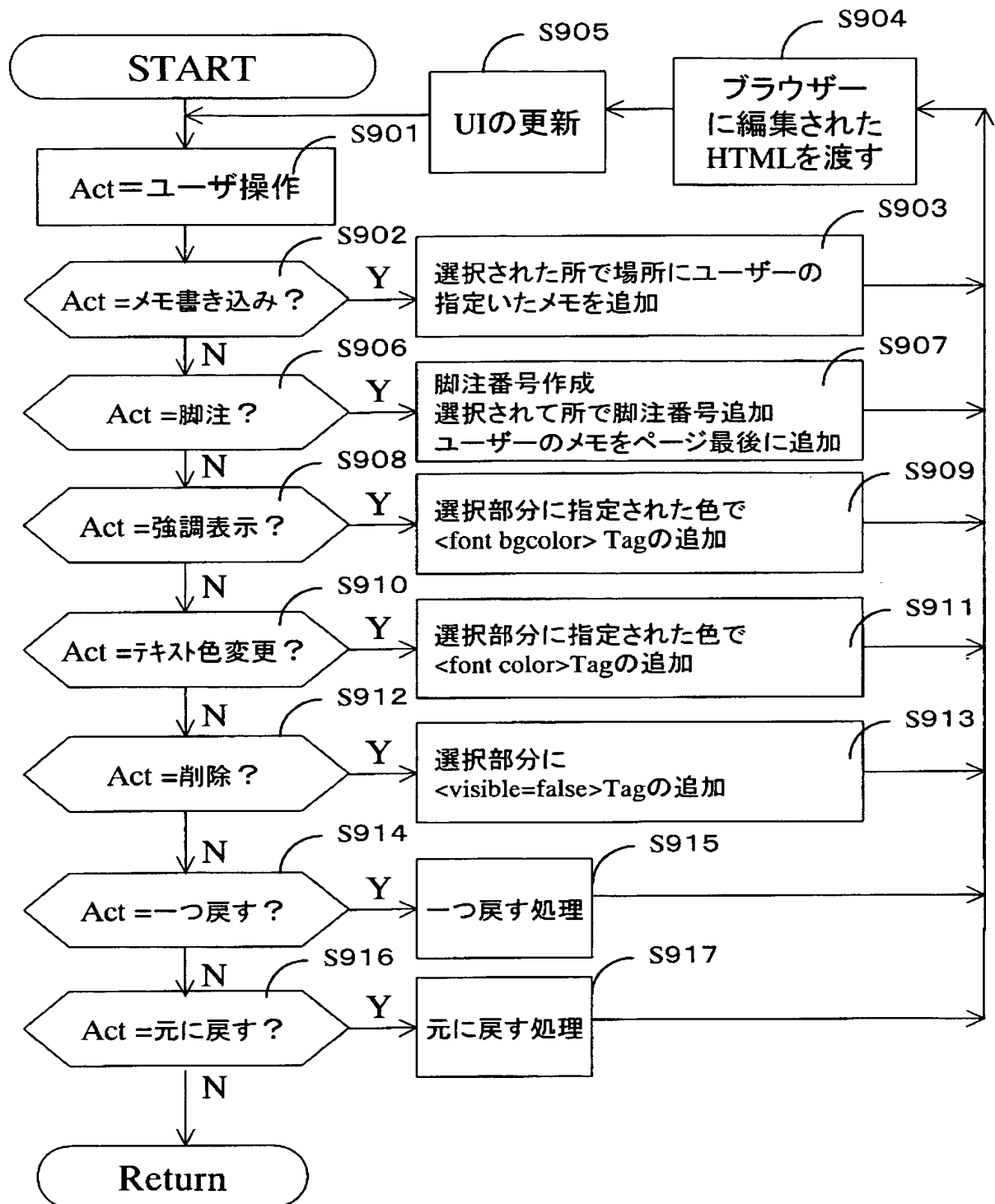
【図 7】



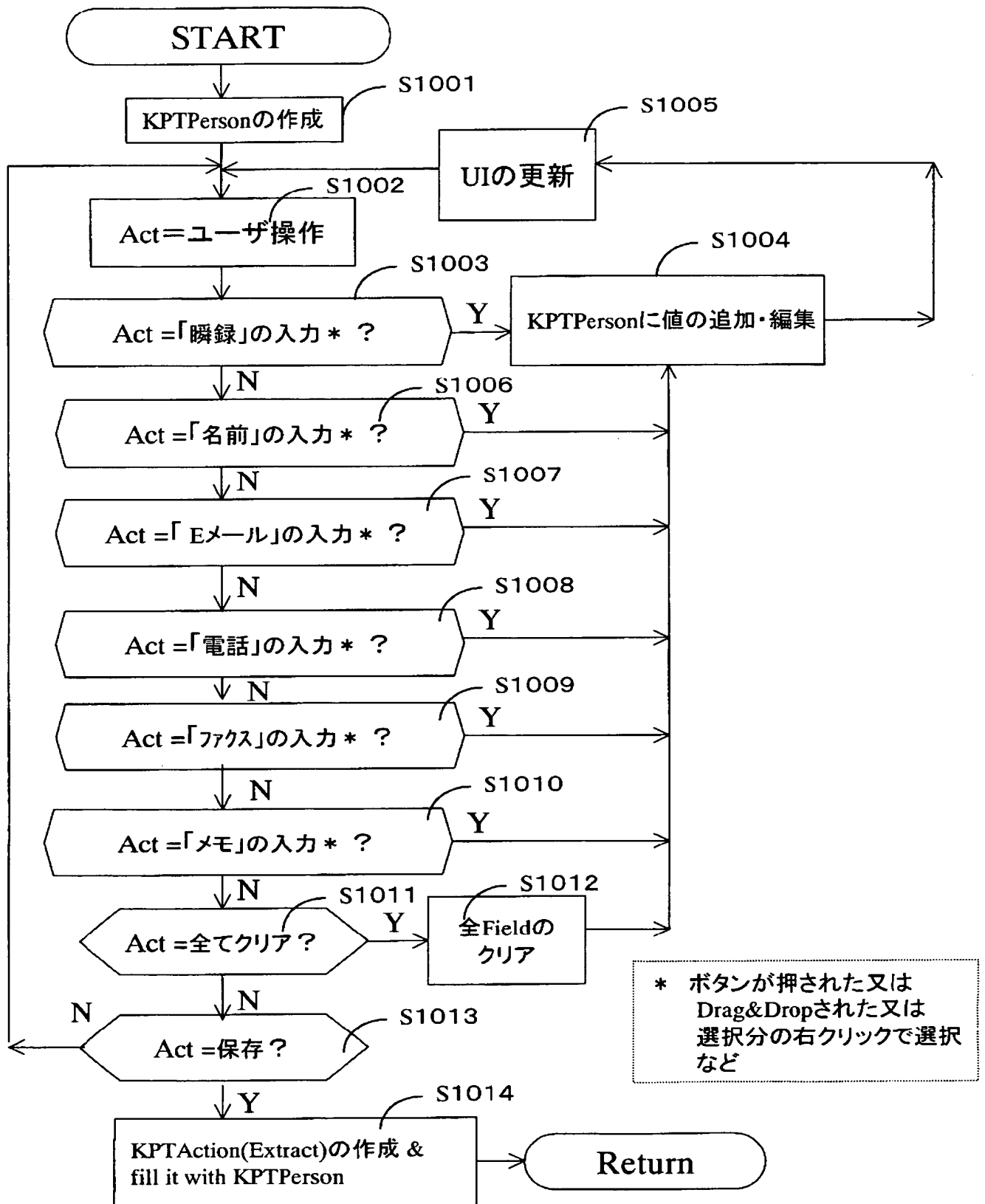
【図 8】



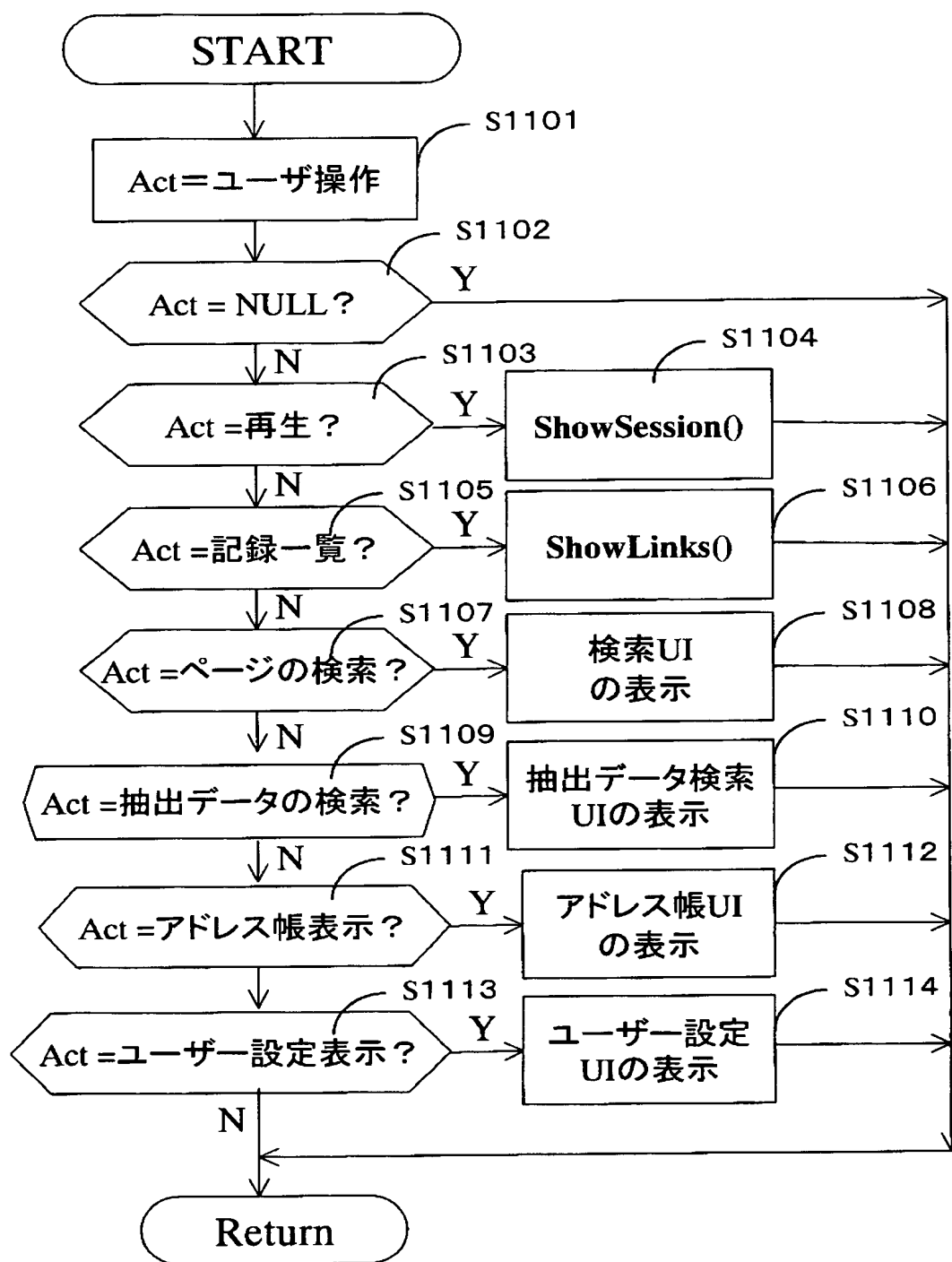
【図 9】



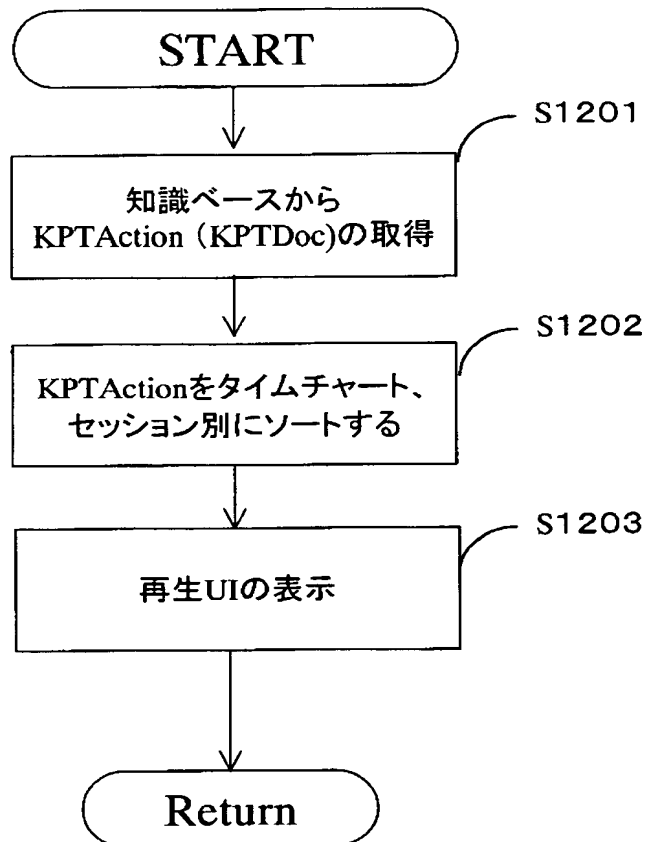
【図 10】



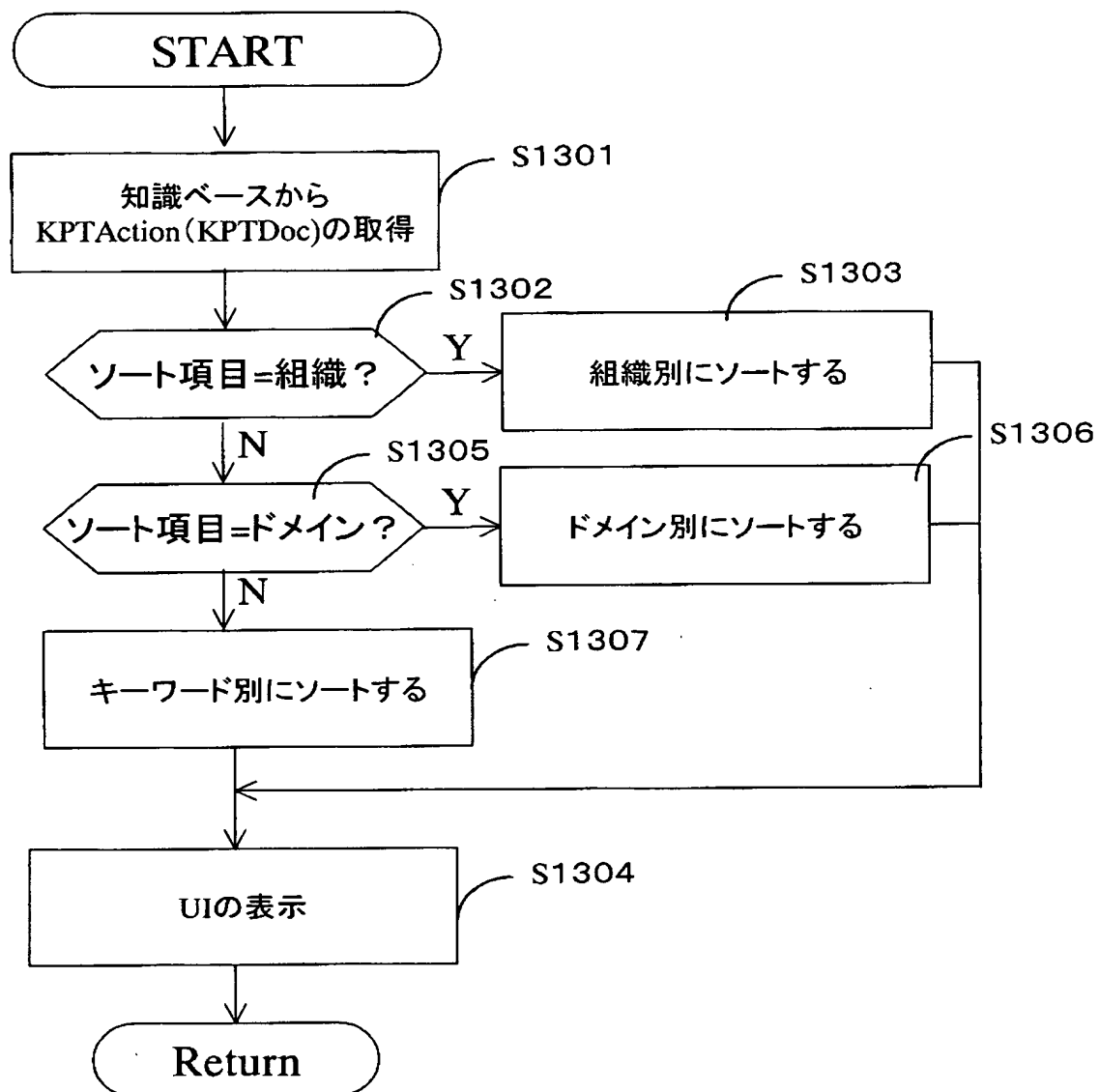
【図 11】



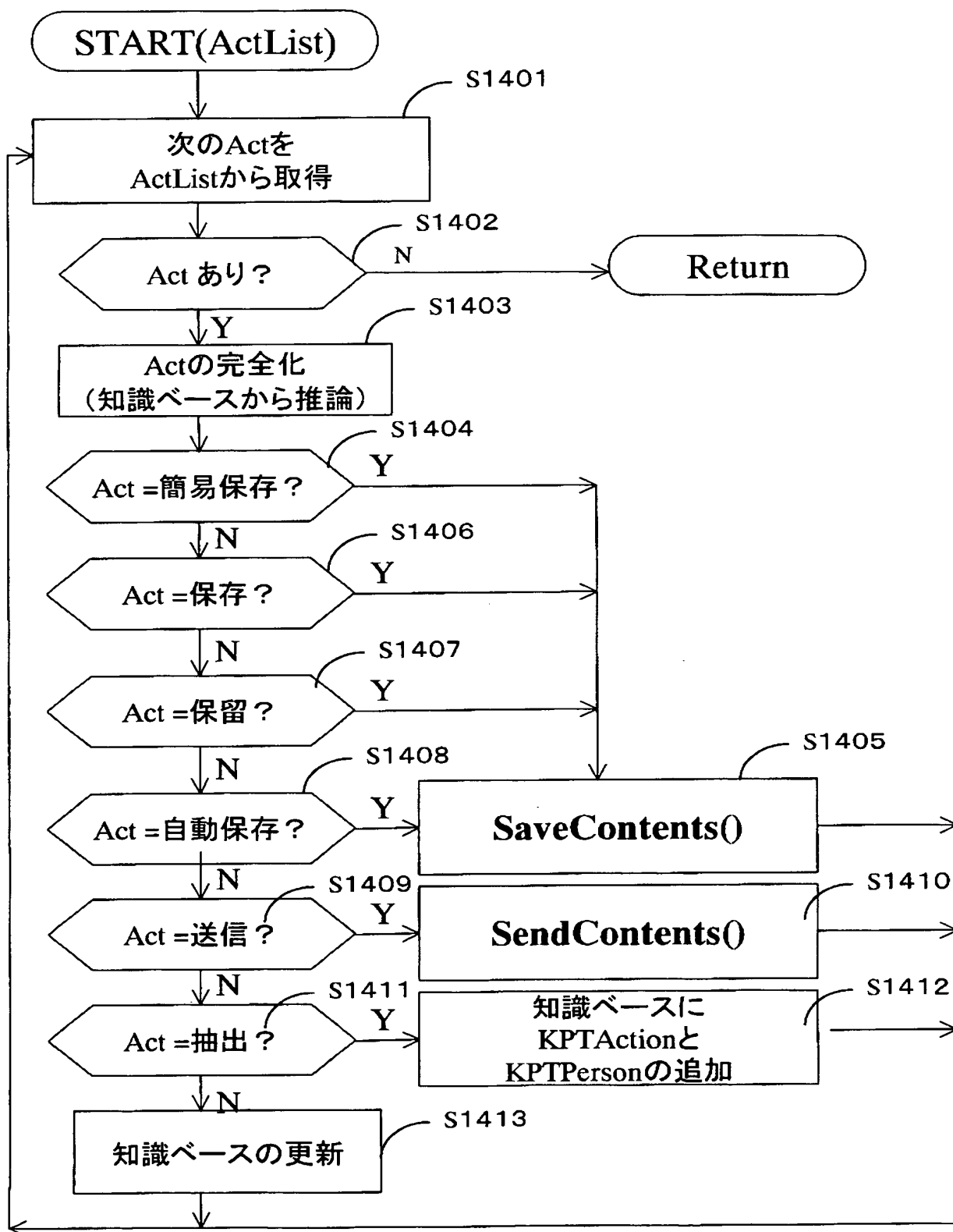
【図 12】



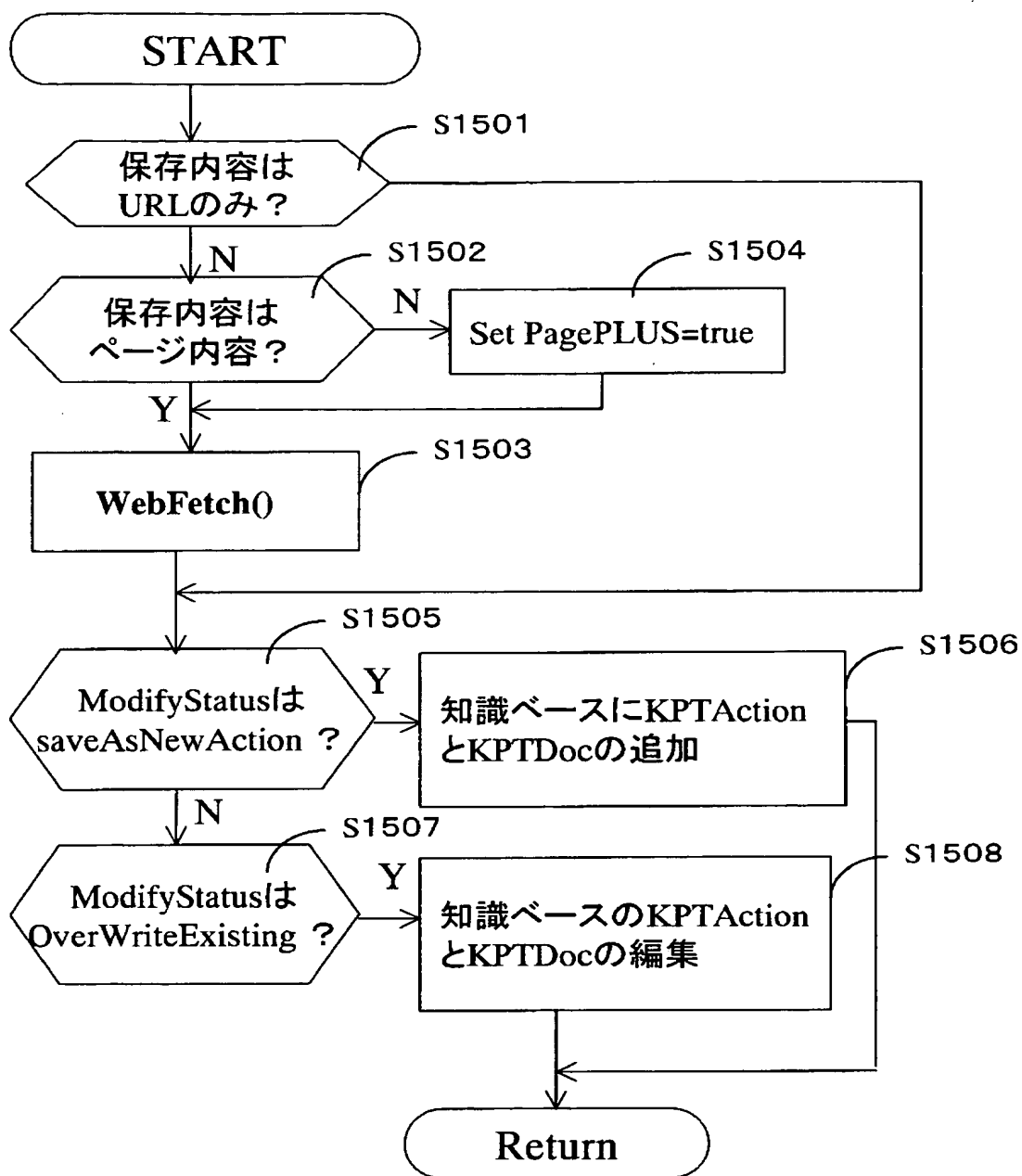
【図 13】



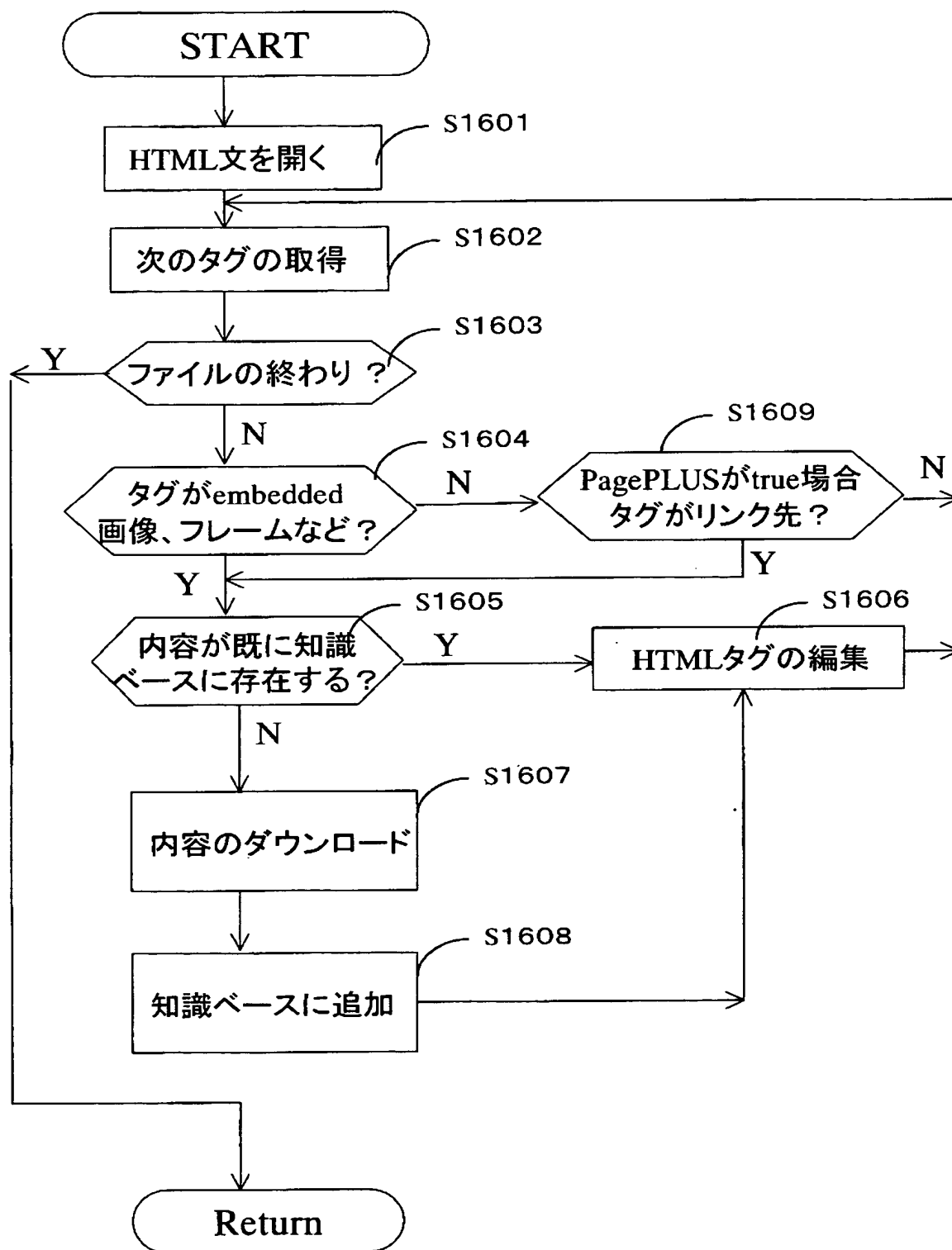
【図 14】



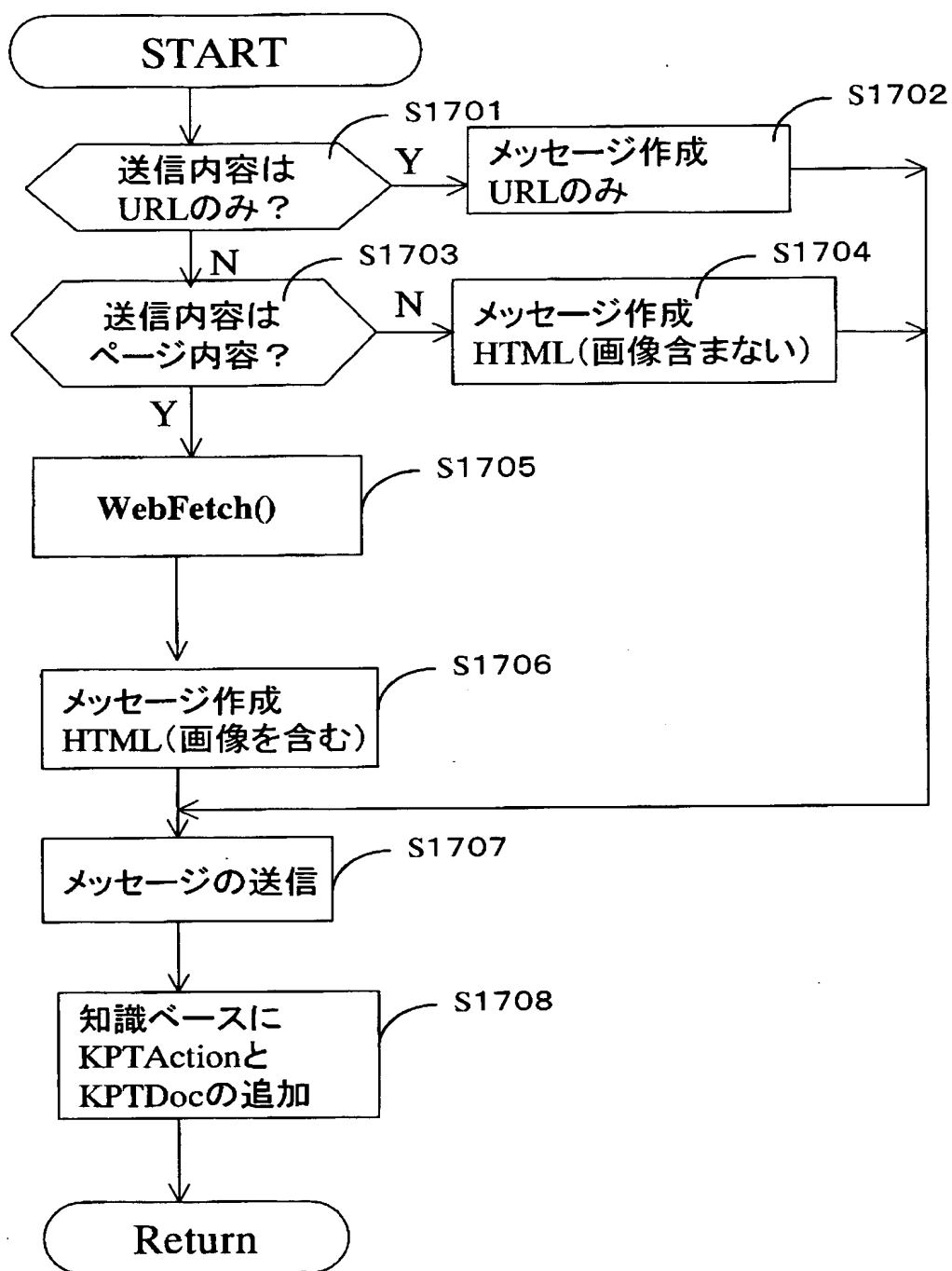
【図 15】



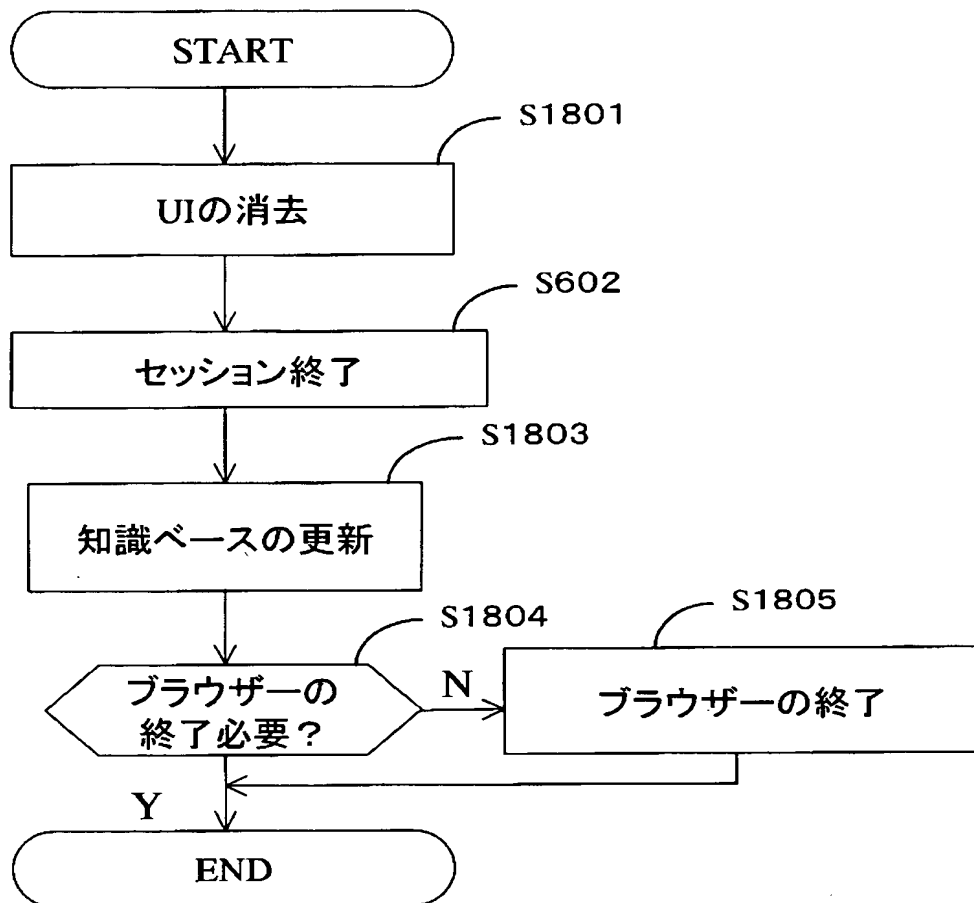
【図 16】



【図 17】



【図 18】



【図 19】

(a)

KPTConcept

```

KPTConcept
{
  ObjectID           KPTObjID
  ModifyStatus       KPTStatus
  ...
}

```

(b)

KPTPerson

```

KPTPerson : KPTConcept
{
  RememberAs         String
  Name               String
  Phone              String
  Email              String
  Fax                String
  URL                String
  ...
}

```

(c)

KPTDocument

```

KPTDocument : KPTConcept
{
  RememberAs         String
  Name               String
  PhysicalURL         String
  LogicalURL          String
  Orgn                String
  Domain              String
  Keywords            String
  Title               String
  FolderName          String
  LinkType            KPTLinkType
  RetrievedDoc         bool
  ...
}

```

【図 2 0】

(a)

KPTAction

KPTAction : KPTConcept

```

{
  Type                KPTActionType
  Actor               KTPPerson
  Object              KPTConcept //Document or Action
  From                KPTConcept
  To                  KPTConcept
  How                 KPTInstrumentType
  WhenToDo            KPTTime
  WhenDone            KPTTime
  ConnectedTo         KPTConnenctionList
  SessionID           KPTObjID
  ActionStatus        KPTActSysStatus
  UserStatus          KPTUsrStatus
  ActImportance       KPTImportance
  ...
}

```

(b)

KPTContent

KPTContent : KPTConcept

```

{
  URL                 String
  FileName            String
  KPTDocID            KPTObjID
  ContentType         KPTMimeType
  ContentLength       long
  ...
}

```

【図 21】

(a)

KPTDoc 知識ベース

ObjectID	瞬録	LogicalURL	Orgn	Domain	Keywords	Folder	...
D630a816	Saora	www.saora.co.jp	saora	JP.CO	KPT,横浜,	D630a816	...
D630a932	KPT	keepoint.com	keepoint	COM	KPT	D630a932	...
D630b232		keepoint.com/faq	saora	COM			...
D233x123	Saora	www.saora.com	paltek,sales	COM		D233x123	...
D133f822		sales.paltek.co.jp	hns, sales	JP.COM	ALTERA, MAX	D133f822	...
D2340x13	HNS	sales.hns.ne.jp	...	JP.NE	KIOSK, インド	D2340x13	...
...

(b)

KPTAction 知識ベース

ObjectID	Type	KPTDocID	Done Time	SessionID	Status	ValidTime	...
A238x231	StartSE		00/03/10 13:38:02		SYSDONE		...
A238x123	Save	D630a816	00/03/10 13:38:22	A238x231	USRDONE	00/03/10 ~ 01/03/10	...
A238x232	QuickS	D630a932	00/03/10 14:18:42	A238x231	USRDONE	00/03/10 ~	...
A980o232	EndSE		00/03/10 14:20:15		SYSDONE		...
A909u898	StartSE		00/04/19 12:12:00		SYSDONE		...
A323f229	Hold	D630b232	00/04/19 12:22:13	A909u898	USRDONE	00/04/25 ~ 00/04/30	...
A902o230	EndSE		00/04/19 14:12:23		SYSDONE		...
A721n292	StartSE		00/04/19 12:12:00		SYSDONE		...
A723b232	Send	D630a816	00/04/19 12:12:23	A721n292	SYSTODO		...
...

【図 22】

(a)

KPTPerson 知識ベース

ObjectID	瞬録	Name	Email	Phone	Fax	Extraced From	...
P324o902	Saora	Saora Inc.	support@saora.co.jp	0459139820	0459139821	www.saora.co.jp	...
P421y232	Kato	日本 加藤	kato@saora.com				...
P234x234		HNS Inc.	siva@hns.com			hnsonline.com	...
...

(b)

KPTContent 知識ベース

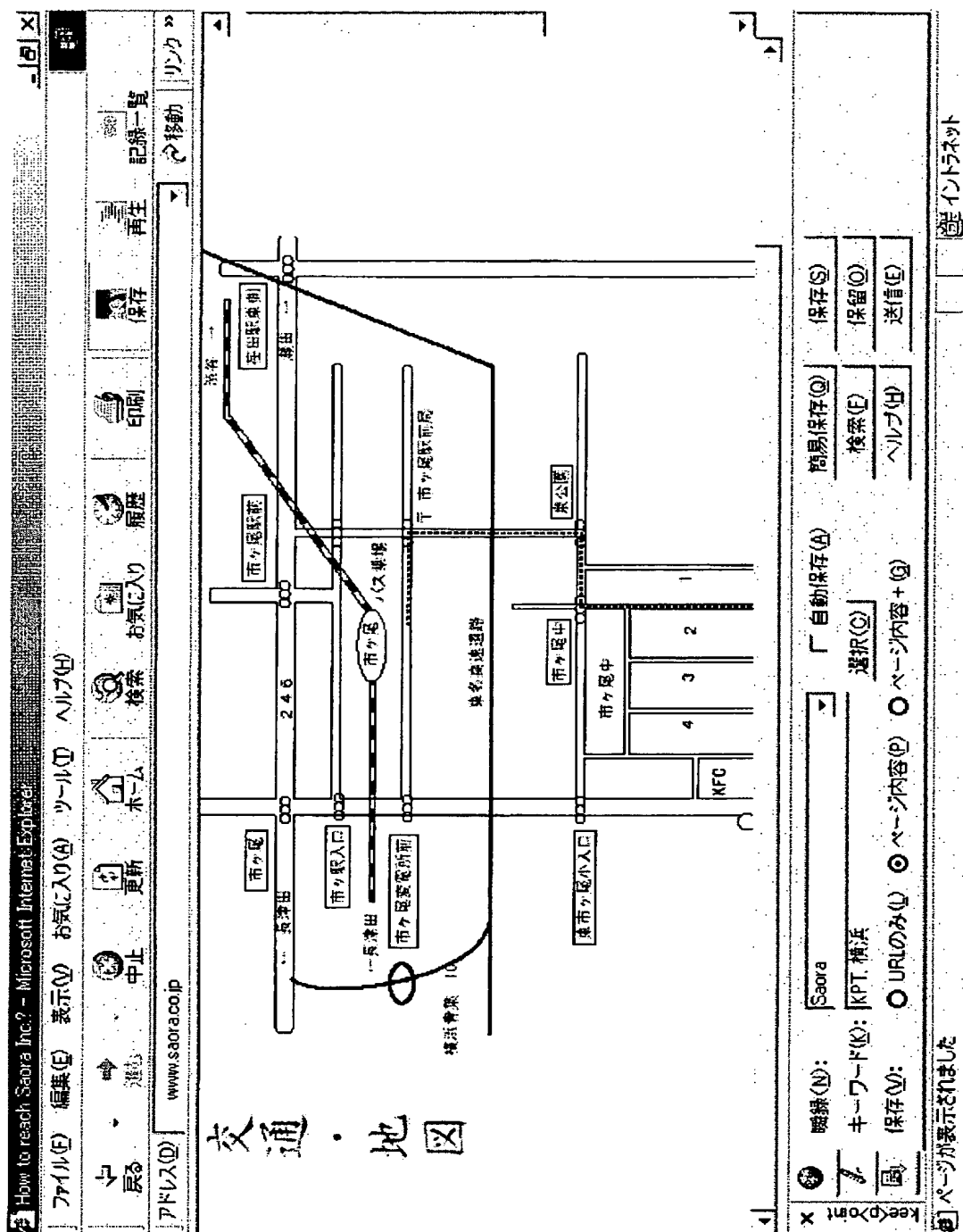
ObjectID	URL	FILENAME	KPTDocID	Content Type	ContLen	...
F232j233	www.saora.co.jp/logo.gif	logo.gif	D630a816	IMAGE/GIF	212	...
F802u233	www.saora.co.jp/jap.gif	jap.gif	D630a816	IMAGE/GIF	128	...
F232q897	keepoint.com/img/logo.gif	logo1.gif	D630a932	IMAGE/GIF	232	...
F329x800	keepoint.com/music/a.mid	a.mid	D630a932	MIME/MIDI	987	...
...

【図 2 3】

Domain 知識ベース

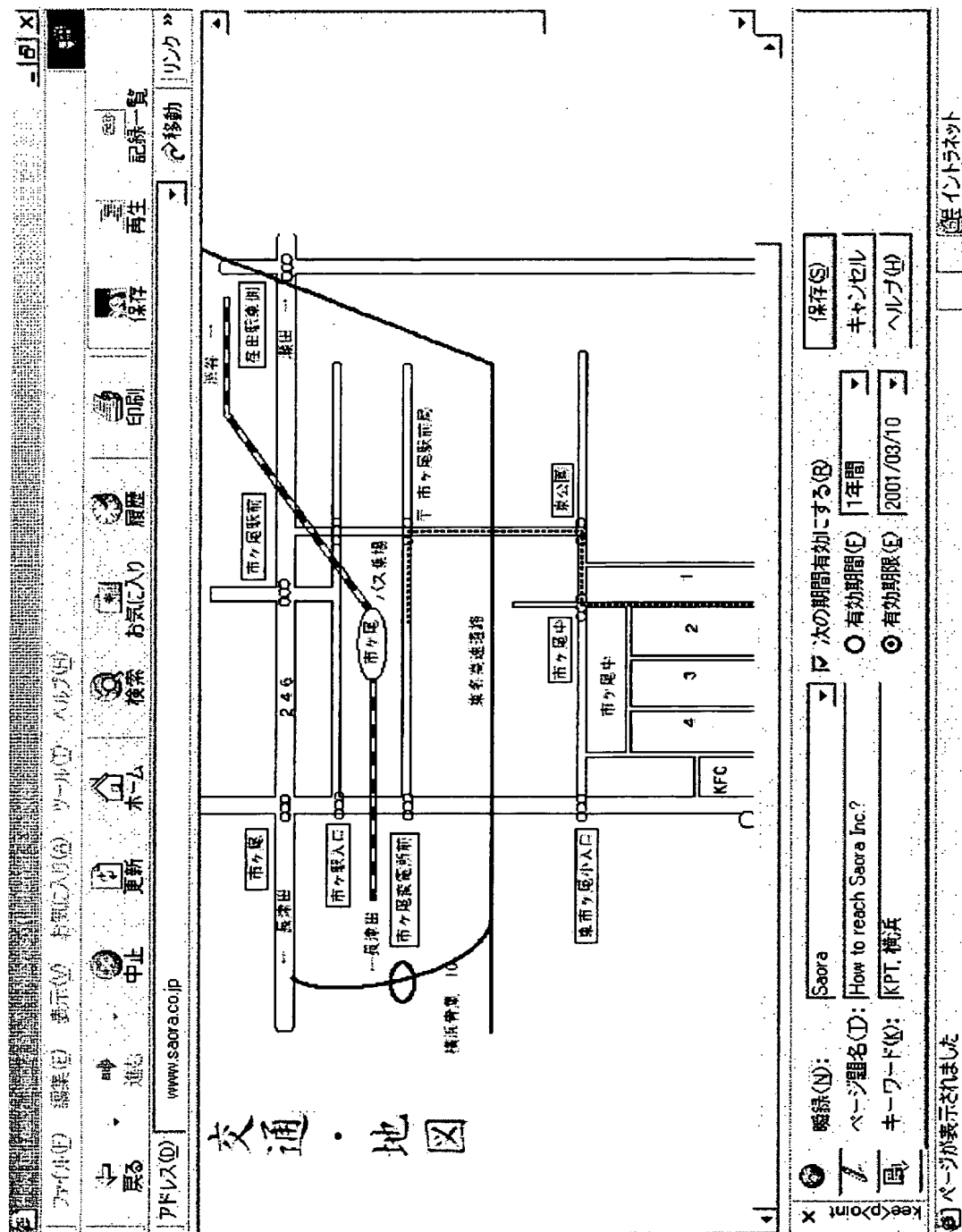
# Generic Domains	
.com,	.COM (Commercial Domains)
.edu,	.EDU (Educational Domains)
.gov,	US Government
.mil,	US Dept of Defense
.net,	.NET (Network Domains)
.org,	.ORG (Organization Domains)
# Country Code Domains	
.ac,	Ascension Island
.ad,	Andorra
.ae,	United Arab Emirates
.af,	Afghanistan
.ag,	Antigua and Barbuda
.ai,	Anguilla
.al,	Albania
.aq,	Antarctica
.jp	Japan
.ad.jp,	Administrative
.ac.jp,	Universities
.co.jp,	Commercial Organizations
.go.jp,	Government Organizations
.or.jp,	Non Commercial Organizations
.ne.jp,	ISP
.ru	Russia
.ac.ru,	Academic Community
.com.ru,	Commercial Organizations
.edu.ru,	Universities
.int.ru,	For public registration
.mil.ru,	Military Establishment
.net.ru,	Internet Service Providers
.org.ru,	Non Commercial Organizations
.pp.ru,	Private Person's domain
...	

【図 24】



【図24】

【図 25】



【25】

【図 26】

(a)

```
KPTDocument11 =  
{  
    ObjectID = "D630a816"  
    RememberAs = ""  
    Name = ""  
    LogicalURL = "www.saora.co.jp"  
    PhysicalURL = ""  
    Orgn = ""  
    Domain = ""  
    Keywords = ""  
    Title = ""  
    FolderName = ""  
    LinkType = '  
    ...  
}
```

(b)

```
KPTAction11  
{  
    ObjectID = "A238x123"  
    Type = ""  
    Actor = "John Smith"  
    Object = "D630a816"  
    From = ""  
    To = ""  
    How = ""  
    WhenToDo = ""  
    WhenDone = ""  
    ConnectedTo = ""  
    SessionID = "A238x231"  
    ActionStatus = "PERFORMING"  
    ...  
}
```

【図 2 7】

```

<html><head>
<title>How to reach Saora Inc.?</title>
<meta name="KEYWORD" content="KPT, 横浜">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=x-sjis">
</head>
<body bgcolor="#FFFFCC">
<table border="0" cellpadding="0" cellspacing="0" align="center" width="906">
  <tr>
    <td width="114" valign="top" align="center" height="24" rowspan="6">
      </td></tr>
    <tr>
      <td width="828" valign="top" colspan="4" height="2">
        
      </tr>
    <tr>
      <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040">
        <strong><big>電車</big></strong></font></td>
      <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
        <li><font color="#0000FF">東急田園都市線 市ヶ尾駅下車</font></li>
        <li><font color="#0000FF">バス305, 306番
          泉田向下車、徒歩1分(又は)徒歩のみ20分 </font> </li></ul></td>
      <td width="200" valign="top" height="2"></td>
      <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
    <tr><td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"><ul>
      <font color="#0000FF"><p>045-913-9820</font> </p></ul></td>
      <td width="200" valign="top" height="2"></td>
      <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
    <tr>
      <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"></font></td>
      <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
        <font color="#0000FF"><p>045-913-9821</font> </p> </ul></td>
      <td width="200" valign="top" height="2"></td>
      <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
    ...
  </table>

```

【図 2 8】

(a)

```
KPTContent11
{
    ObjectID = "F232j233"
    URL = "www.saora.co.jp/logo.gif"
    FileName= "logo.gif"
    KPTDocID = "D630a816"
    ContentType = 'IMAGE/GIF'
    ContLen = 212
    ...
}
```

(b)

```
KPTContent12
{
    ObjectID = "F802u233"
    URL = "www.saora.co.jp/jap.gif"
    FileName= "jap.gif"
    KPTDocID = "D630a816"
    ContentType = 'IMAGE/GIF'
    ContLen = 128
    ...
}
```

【図 2 9】

```

<html><head>
<title>How to reach Saora Inc.?</title>
<meta name="KEYWORD" content="KPT, 横浜">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=x-sjis">
</head>
<body bgcolor="#FFFFCC">
<table border="0" cellpadding="0" cellspacing="0" align="center" width="906">
  <tr>
    <td width="114" valign="top" align="center" height="24" rowspan="6">
      </td></tr>
  <tr>
    <td width="828" valign="top" colspan="4" height="2">
      
    </tr>
  <tr>
    <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040">
      <strong><big>電車</big></strong></font></td>
    <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
      <li><font color="#0000FF">東急田園都市線 市ヶ尾駅下車</font></li>
      <li><font color="#0000FF">バス305, 306番
        泉田向下車、徒歩1分(又は)徒歩のみ20分 </font> </li></ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  <tr><td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"><ul>
      <font color="#0000FF"><p>045-913-9820</font> </p></ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  <tr>
    <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"></font></td>
    <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
      <font color="#0000FF"><p>045-913-9821</font> </p> </ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  ...
</table>

```

【図 3 0】

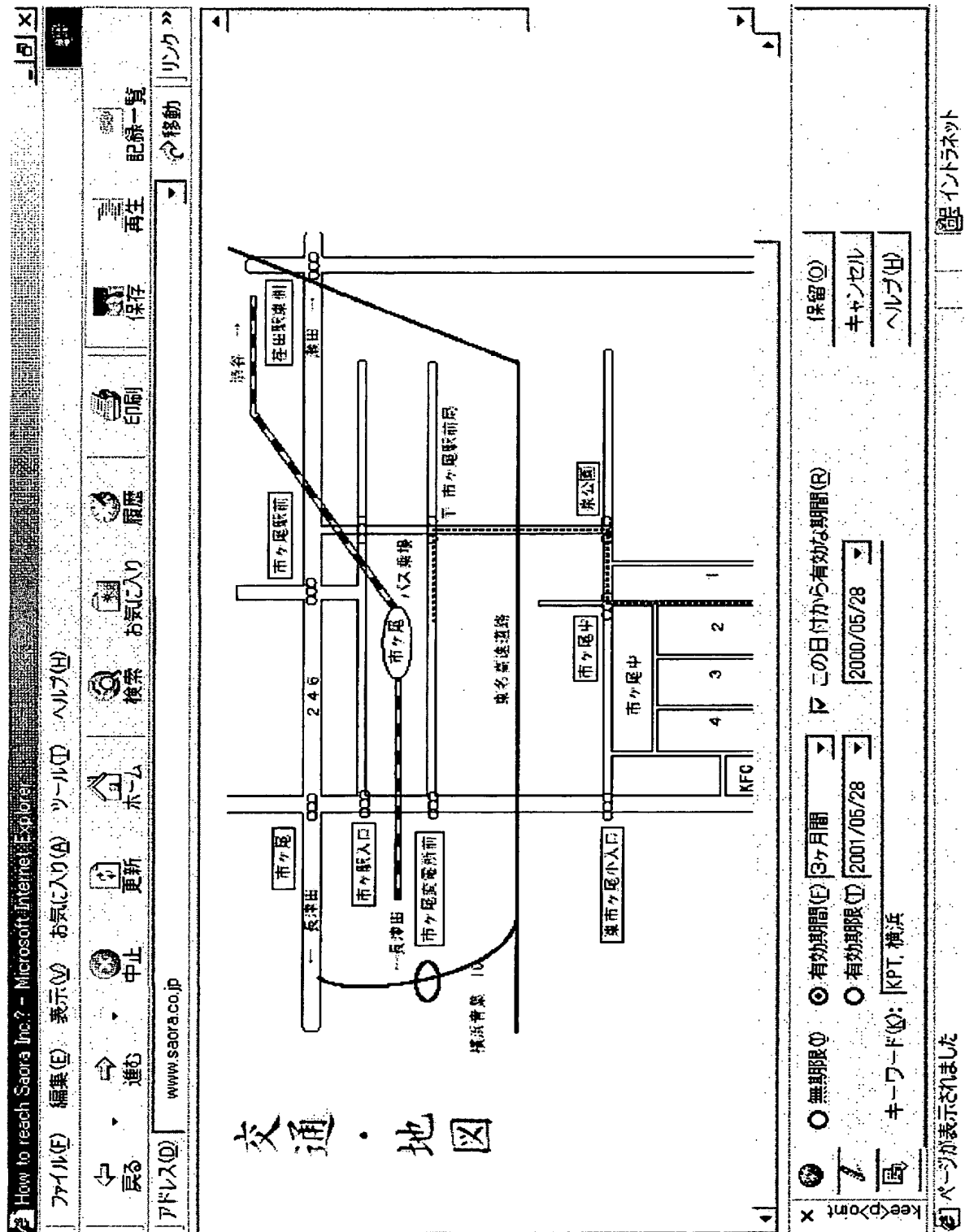
(a)

```
KPTDocument11 =  
{  
    ObjectID = "D630a816"  
    RememberAs = "Saora"  
    Name = ""  
    LogicalURL = "www.saora.co.jp"  
    PhysicalURL = ""  
    Orgn = "saora"  
    Domain = "JP.CO"  
    Keywords = "KPT, 横浜"  
    Title = "How to reach Saora Inc.?"  
    FolderName = "D630a816"  
    LinkType = 'Page Contents'  
    ...  
}
```

(b)

```
KPTAction11  
{  
    ObjectID = "A238x123"  
    Type = "Save"  
    Actor = "John Smith"  
    Object = "D630a816"  
    From = ""  
    To = ""  
    How = ""  
    WhenToDo = "00/03/10 ~ 01/03/10"  
    WhenDone = "00/03/10 13:38:22"  
    ConnectedTo = ""  
    SessionID = "A238x231"  
    ActionStatus = "USRDONE"  
    ModifyStatus = saveAsNewAction  
    ...  
}
```

【図 3 1】



【図31】

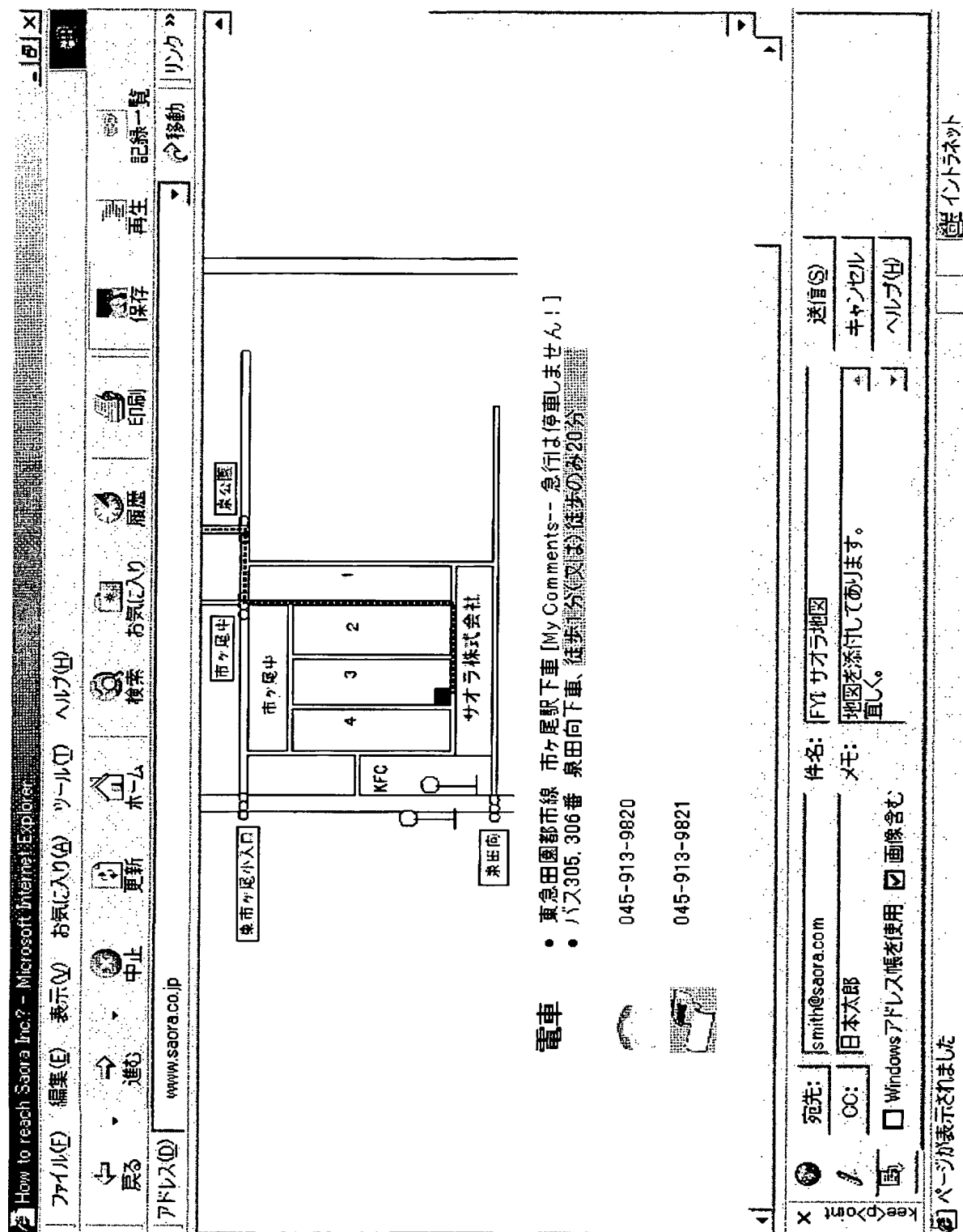
【図 3 3】

```

<html><head>
<title>How to reach Saora Inc.?</title>
<meta name="KEYWORD" content="KPT, 横浜">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=x-sjis">
</head>
<body bgcolor="#FFFFCC">
<table border="0" cellpadding="0" cellspacing="0" align="center" width="906">
  <tr>
    <td width="114" valign="top" align="center" height="24" rowspan="6">
      </td></tr>
  <tr>
    <td width="828" valign="top" colspan="4" height="2">
      
    </tr>
  <tr>
    <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040">
      <strong><big>電車</big></strong></font></td>
    <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
      <li><font color="#0000FF">東急田園都市線 市ヶ尾駅下車
        <SPAN class="KPT" style="COLOR: #ff0000" id=ID_0027202
        [My Comments-- 急行は停車しません！] </SPAN>
        </font></li> <li><font color="#0000FF">バス305, 306番
        泉田向下車、徒歩1分(又は)徒歩のみ20分 </font>      </li></ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  <tr><td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"><ul>
      <font color="#0000FF"><p>045-913-9820</p></font></ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  <tr>
    <td width="44" valign="top" height="2"><font color="#400040"></font></td>
    <td width="573" valign="top" height="2"><ul>
      <font color="#0000FF"><p>045-913-9821</p></font></ul></td>
    <td width="200" valign="top" height="2"></td>
    <td width="11" valign="top" height="2"></td></tr>
  ...
</table>

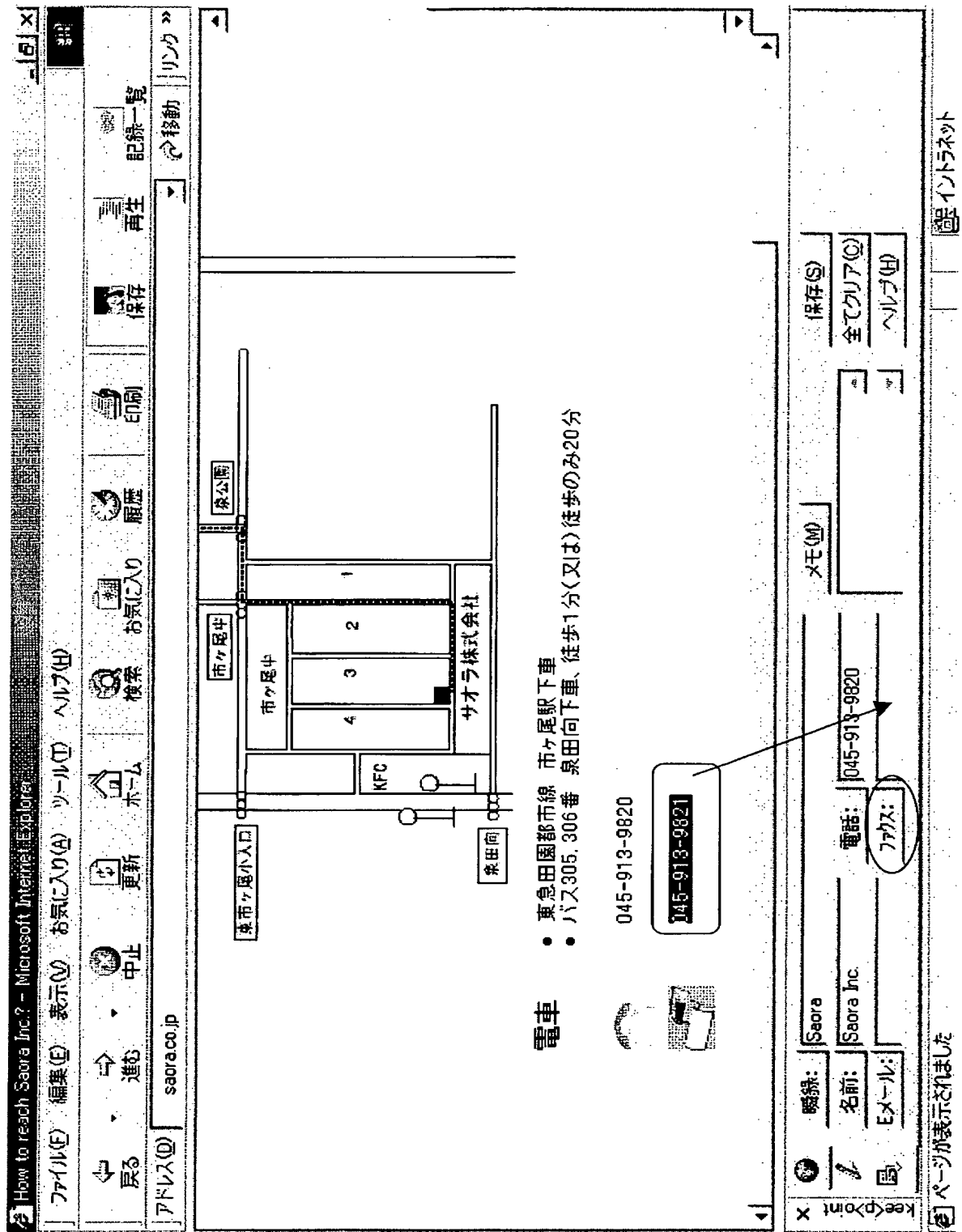
```


【図 3 4】



【図34】

【図 35】



【図 35】

【図 3 6】

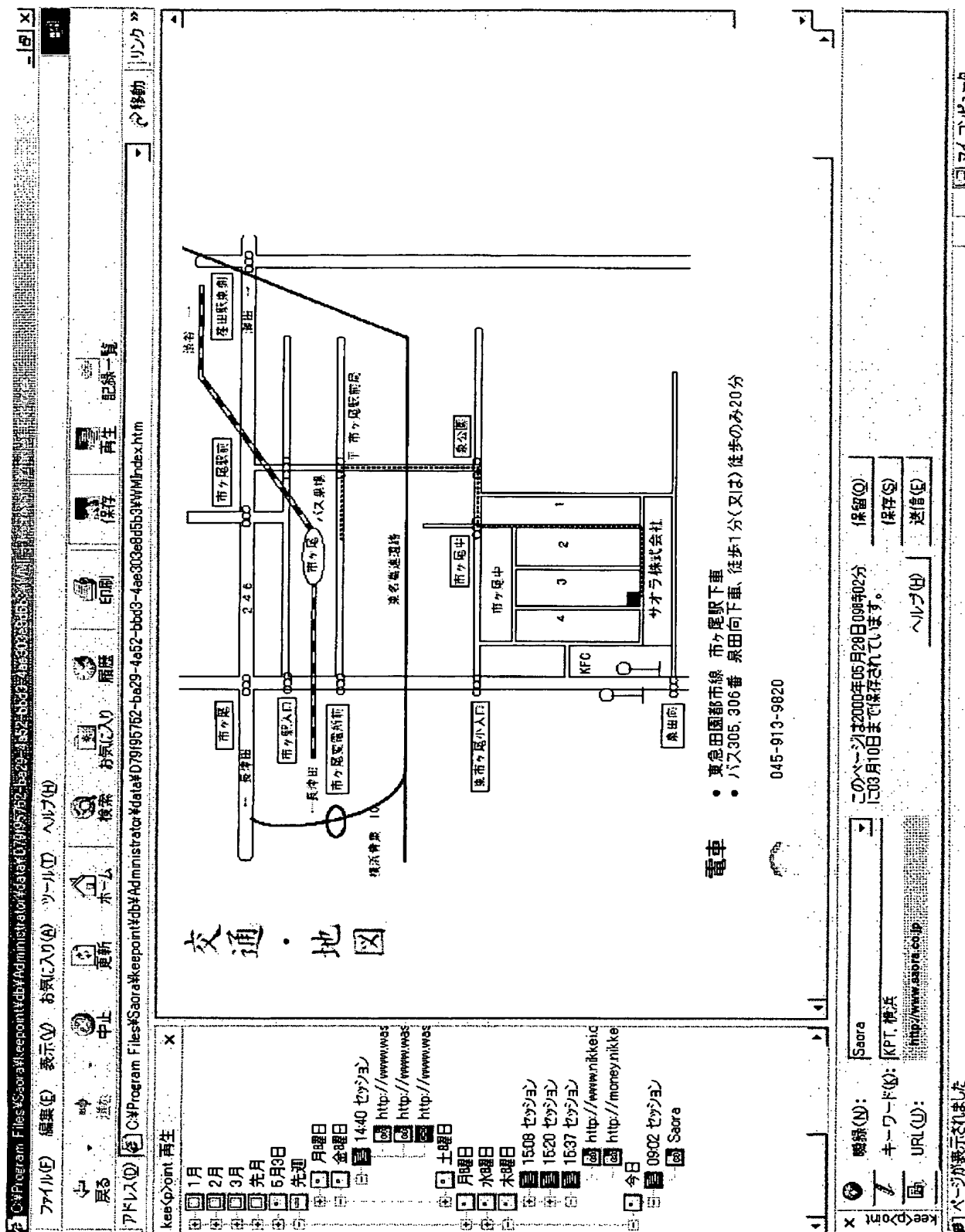
(a)

```
KTPPerson31 =  
{  
    ObjectID = "P324o902"  
    RememberAs = "Saora"  
    Name = "Saora Inc."  
    Email = "support@saora.co.jp"  
    Phone = "045-913-9820"  
    Fax = "045-913-9821"  
    ExtractedFrom = "www.saora.co.jp"  
    ...  
}
```

(b)

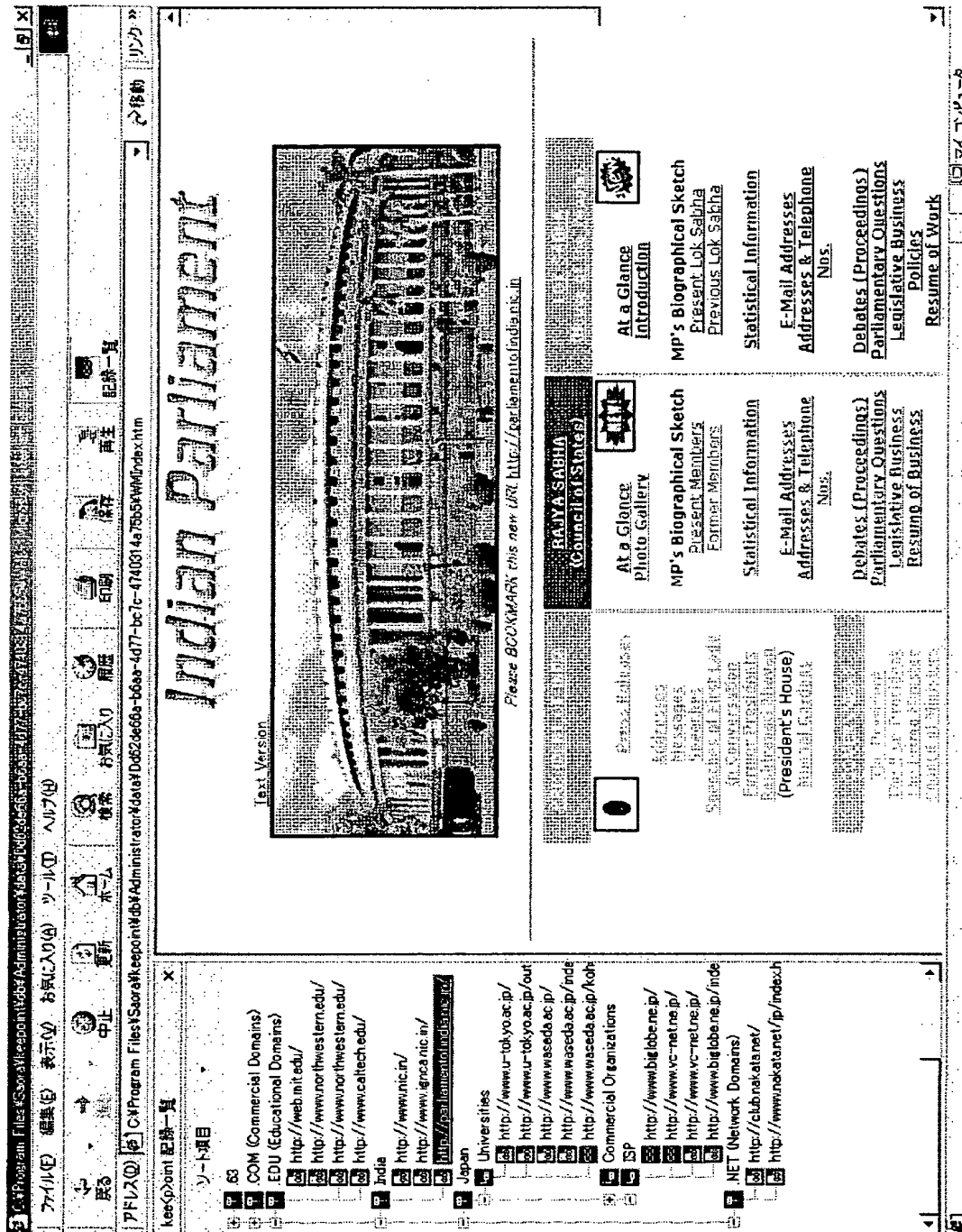
```
KPTAction31  
{  
    ObjectID = "A324i213"  
    Type = "ExtractData"  
    Actor = "John Smith"  
    Object = "P324o902"  
    From = ""  
    To = ""  
    How = ""  
    WhenToDo = ""  
    WhenDone = "00/04/19 18:22:10"  
    ConnectedTo = ""  
    SessionID = "A902y134"  
    ActionStatus = "USRDONE"  
    ModifyStatus = saveAsNewAction  
    ...  
}
```

【図 3 7】



【图37】

【図 39】



【図 39】

【図 40】



【図 41】

☐ 保存されているページ及びリンクの検索
 ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)

検索開始(E)

中止(C)

新規検索(N)

閉じる(C)

ヘルプ(H)

次の文字で始まる暗録(M):

次の文字で始まるページ題名:

次の文字で始まるURL:

次のキーワードを含む(Q):

☒ 保存又はインポート(S) ☐ 保留(H) ☐ 送信(E) されたページ又はリンク

次の条件で閲覧

☒ 2000/04/28 から 2000/05/28
☐ 過去 1ヶ月間

☒ ページ内容のみを表示(E) ☐ 全てのページ及びリンク(L)

32 個のエントリが見つかりました。

暗録	URL	アクション	行われた日付	有効期限
	http://www.sbforums.co.jp/	Quick Saved	00/05/15 14:37	
	http://www.waseda.ac.jp/	Quick Saved	00/05/19 14:40	
	http://207.46.152.63/	Quick Saved	00/05/24 15:02	
	http://www.jpn.hp.com/ahp/nhp-1.h...	Quick Saved	00/04/30 14:26	
	http://www.paltek.co.jp/investor/in...	Quick Saved	00/05/24 15:06	
	http://www.sbforums.co.jp/interop/ht...	Quick Saved	00/05/15 14:37	
	http://www.equator.com/equator/ht...	Quick Saved	00/05/25 15:12	
	http://www.rec.co.jp/japanese/prof...	Quick Saved	00/05/25 15:10	
	http://www.microsoft.com/japan/	Quick Saved	00/05/25 15:20	
	http://welcome.hp.com/country/jp/...	Quick Saved	00/04/30 14:25	
32013	http://intuition/new/map.htm	Saved	00/05/23 15:02	01/03/10
	http://www.rec.co.jp/	Quick Saved	00/05/25 15:10	
	http://www.paltek.co.jp/	Quick Saved	00/05/24 15:04	

ページ
 1/1

印刷(P) 一覧(L) 詳細(D) 上(U) 下(D)

【図 41】

【図 4 2】

ページ詳細 ? ×

略称(M):

ページ題名(T):

キーワード(K):

URL(U):

有効期間(R): ☒ から
☐ 残存

このページは2000年05月28日09時02分に03月10日まで保存されています。

【図 4 3】

File Explorer アドレス帳及び抽出データの検索

ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)

条件の指定:

次の文字で始まる履歴(M):	[s]	検索開始(F)
次の文字で始まる名前(N):	[]	中止(S)
抽出された時期(P):	<input checked="" type="radio"/> 全て(A) <input type="radio"/> [2000/04/28] から [2000/05/28] <input type="radio"/> 過去 [1ヶ月間]	新規検索(N)
		開じる(O)
		ヘルプ(H)

1 個のエントリが見つかりました。

履歴	名前	電子メール	電話	ファクス	メモ
smith@saora.com smith@saora.com					

デイ CAP NUM SCRL

【図43】

【図 44】

ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)

合計エントリー数 = 5
 新規作成
 開じる
 ヘルプ(H)

略称	名前	電子メール	電話	ファクス	メモ
Equator Technol...	Equator Techno...	jobs@equat...	716-423-4...	(408) 371-...	Equator Technologies*
Investor Relations	Investor Relatio...	webmaster...	0120-95-0...		Hours of Operation:*
PC98関連	PC98関連				PC98関連...
smith@saora.com		smith@sao...	0570-01-9...		営業時間: 月~金 9:00-12...
お客様相談セン...	お客様相談セン...				

レディ
 加
 CAP
 NUM
 SCRL

【図44】

【図 45】

A screenshot of a Windows-style dialog box titled "smith@saora.comの詳細". The dialog contains several input fields for user information:

- 職録(M): smith@saora.com
- 名前(N):
- Eメール(E): smith@saora.com
- 電話(P):
- ファクス(F):
- メモ(M):

At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "キャンセル", and "ヘルプ(H)".

【図 46】

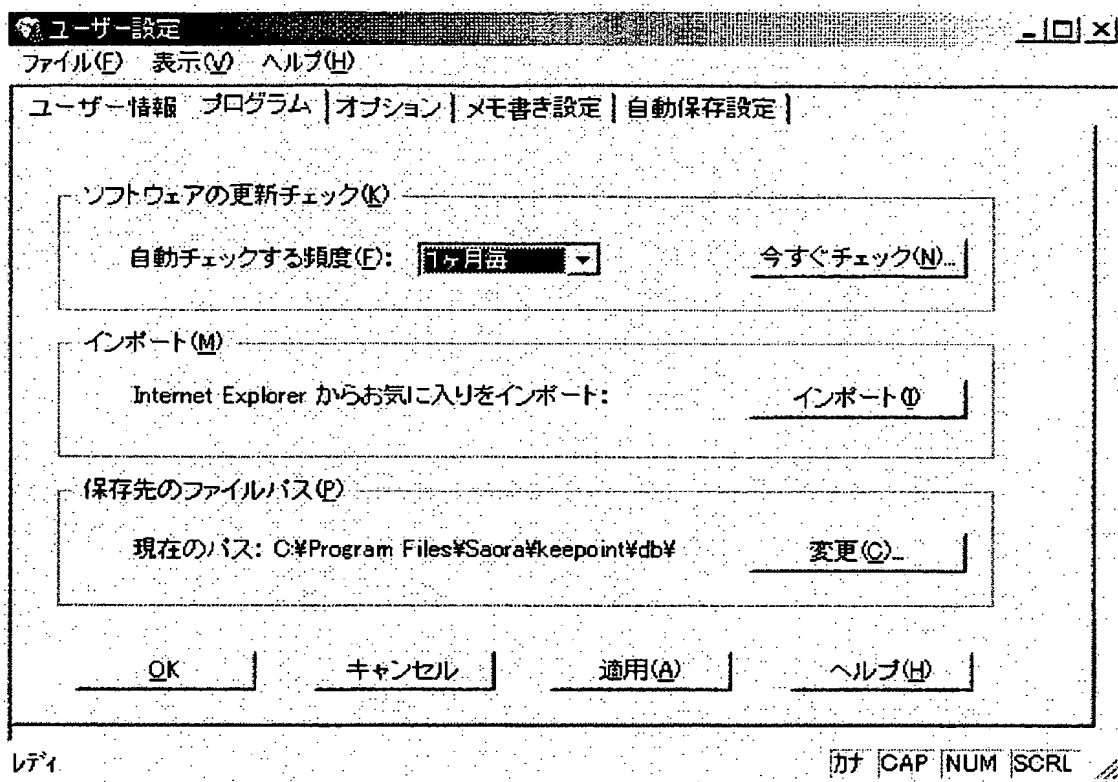
A screenshot of a "ユーザー設定" (User Settings) window. The window has a menu bar with "ファイル(F)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". Below the menu bar is a tabbed interface with tabs for "ユーザー情報", "プログラム", "オプション", "メモ書き設定", and "自動保存設定". The "ユーザー情報" tab is currently selected, showing the following fields:

- 氏名(N): Administrator
- 電子メール(E): admin@saora.co.jp
- 電話(P): 045-913-9820
- ファクス(F): 045-913-9821
- 住所(D):

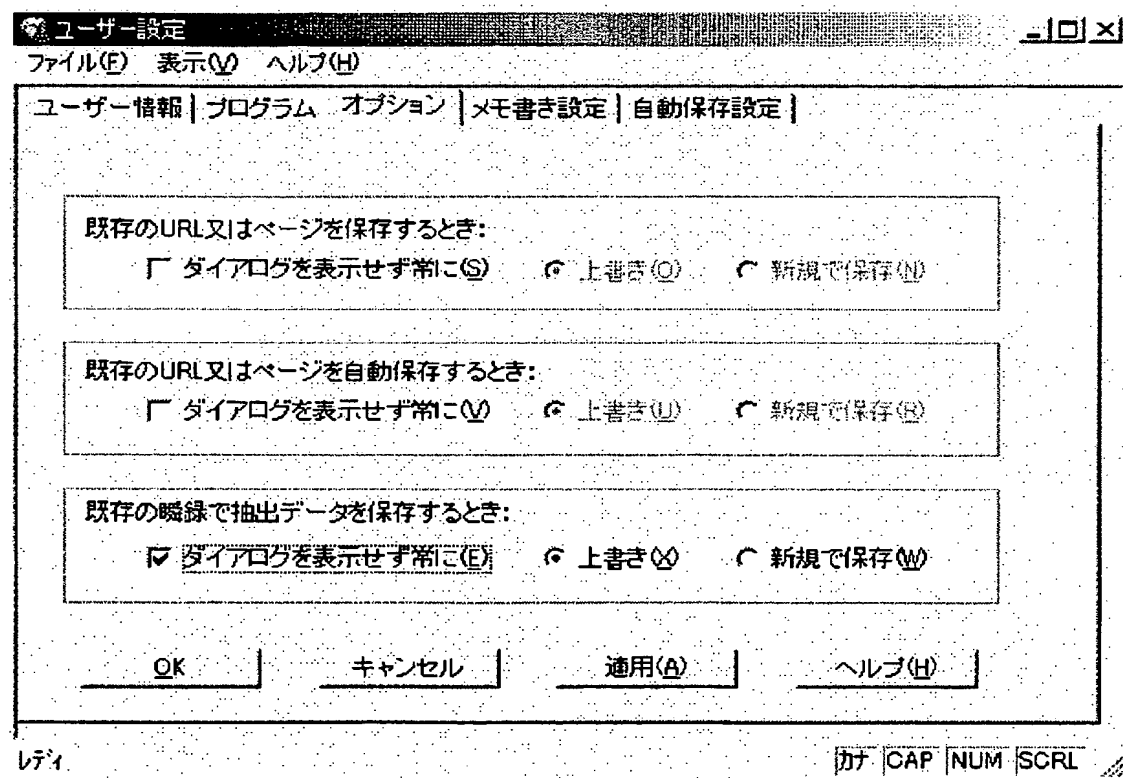
At the bottom of the window are four buttons: "OK", "キャンセル", "適用(A)", and "ヘルプ(H)".

At the very bottom of the window, there is a status bar with the text "レディ" on the left and "カナ CAP NUM SCRL" on the right.

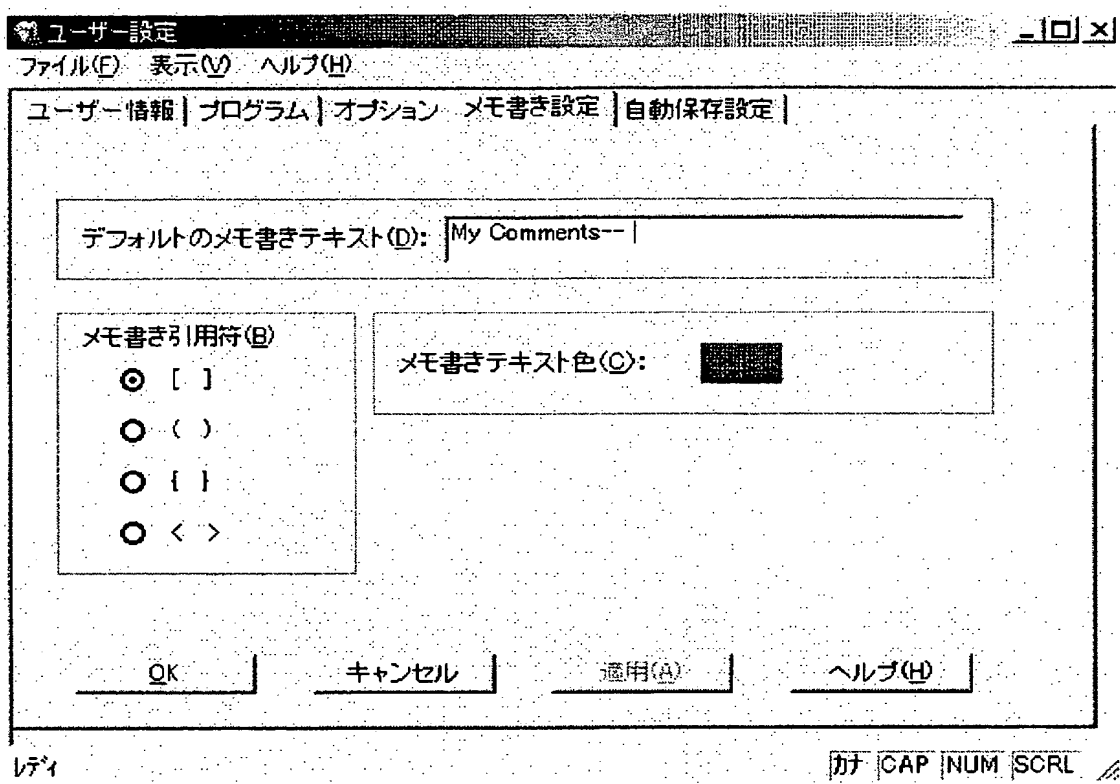
【図 4 7】



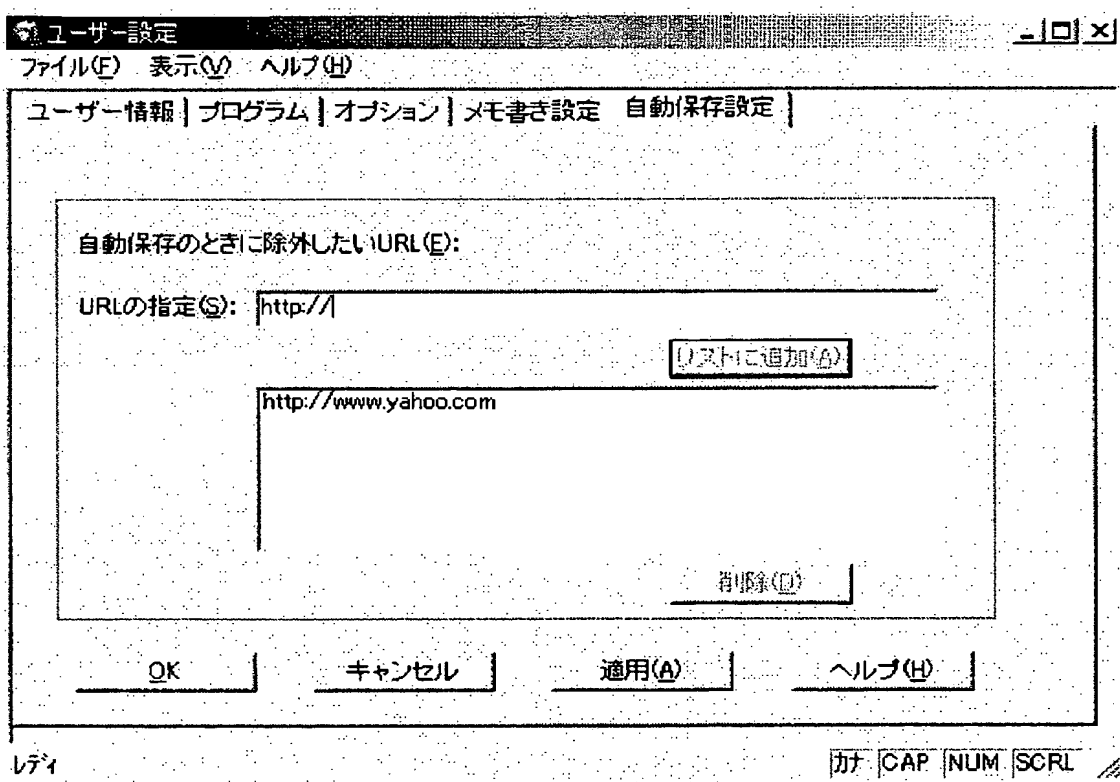
【図 4 8】



【図 49】



【図 50】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 インターネットからの情報の加工や管理などを容易にする。

【構成】 情報処理方法に、情報群に所定のインデックスを付与する付与工程と、前記付与工程により付与されたインデックスに基づいて前記情報群からデータベースを作成するデータベース作成工程とを備える。

【選択図】 図 6

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 9 7 2 9 3
受付番号	1 0 0 0 0 9 9 0 1 1 1
書類名	特許願
担当官	濱谷 よし子 1 6 1 4
作成日	平成 1 2 年 7 月 1 8 日

< 認定情報・付加情報 >

【特許出願人】	申請人
【識別番号】	500142671
【住所又は居所】	神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 1 - 3 0 - 4 0 - 3 3 3
【氏名又は名称】	サオラ株式会社

次頁無

特願 2 0 0 0 - 1 9 7 2 9 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 0 0 1 4 2 6 7 1]

1. 変更年月日

2 0 0 0 年 3 月 6 日

[変更理由]

新規登録

住 所

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 1 - 3 0 - 4 0 - 3 3 3

氏 名

サオラ株式会社